

令和6年度

事業報告



社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

目 次

1	全体総括	1
2	基本方針ごとの総括	2
3	事業内容	
	基本方針 1 地域共生のための体制づくり	
	推進項目 1 地域づくり活動の基盤整備	1 0
	推進項目 2 包括的支援体制の構築	1 6
	推進項目 3 行政と社協のパートナーシップの強化	3 3
	推進項目 4 県民啓発と情報発信	3 6
	基本方針 2 住民参加による地域づくり	
	推進項目 1 福祉教育による地域活動の育成支援	3 7
	推進項目 2 誰一人取り残さない地域社会づくり	3 9
	推進項目 3 多様な主体によるネットワークづくりの推進	4 9
	推進項目 4 地域における公益活動の推進	5 1
	推進項目 5 危機管理体制づくりの推進	5 1
	基本方針 3 福祉サービスの基盤づくり	
	推進項目 1 福祉人材の確保・育成・定着の推進	5 8
	推進項目 2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化	7 2
	基本方針 4 組織・経営基盤の強化	
	推進項目 1 法人経営の基盤強化と財源の確保	8 1
	推進項目 2 職員の資質向上と意識改革	8 6
	その他 災害時における被災地支援	
	令和 6 年 7 月大雨災害に伴う被災地支援の状況	8 8
	令和 6 年能登半島地震に伴う被災地支援の状況	8 9

令和6年度 事業報告

1 全体総括

上昇傾向が続く物価高は、家庭生活のみならず、福祉施設・事業所の経営や、福祉サービスの安定的な提供にも影響を及ぼしつつあります。

また、本県を含め各地で頻発する大規模災害に備え、平時から災害福祉支援活動に係る体制整備を図り、災害に強い地域づくりを推進する必要があります。

こうした中、本会の中長期計画である「第6期秋田県地域福祉活動計画」がスタートし、4つの基本方針に沿い、関係機関・団体との連携のもと、次のとおり取り組みました。

基本方針の1点目である「地域共生のための体制づくり」に向けては、少子高齢化の進行などを背景とした地域の支え合い機能の低下や地域における生活課題の複雑・多様化といった状況を踏まえ、地域福祉の推進を担う人材の育成、権利擁護支援体制の構築、地域包括ケアシステムの深化の推進に向けた事業等を実施しました。また、生活福祉資金のコロナ特例貸付について、償還免除済みの借受人に対し、現況に関するアンケート調査を実施するとともに、市町村社協担当者への説明会等を通じてフォローアップ支援の推進を図りました。さらに、地域福祉推進委員会では、関係団体からの要望を整理し、国・県・市町村に対する政策要望を取りまとめ、県との懇談協議等を通じて、政策提言を行いました。

基本方針の2点目である「住民参加による地域づくり」では、福祉教育の普及啓発に向けた「秋田県版福祉教育の手引書」を作成したほか、中学生・高校生・特別支援学校生徒が行う地域貢献活動に助成を行い、ボランティア・市民活動の意識醸成を図りました。子どもの居場所づくり支援では、居場所づくり等に取り組む支援団体等のネットワークの充実・拡大に向けて、県内の支援団体や企業等への訪問活動のほか、連絡会議・情報交換会・勉強会等に取り組みしました。高齢者の生きがい・健康づくりの推進に向けては、県版ねりんピック等によるスポーツ・文化活動の振興に努めるとともに、新たにフレイル予防事業に着手し、大学や関係者の協力を得てeスポーツ体験による効果検証等に取り組みしました。災害福祉支援機能の構築に向けては、秋田県災害福祉支援センター(仮称)検討委員会において協議を行い、求められる役割・機能を整理し報告書にまとめました。

基本方針の3点目である「福祉サービスの基盤づくり」では、福祉人材確保に向けて多様な人材の参入促進や職場定着促進の取組と併せ、中長期的な視点に基づき、福祉分野への若年層の関心を高めるための取組として、高校生を対象に福祉施設での職場体験事業を新規に実施し、福祉の仕事への理解促進を図りました。また、県内3地区(大館市・秋田市・横手市)に配置している福祉人材キャリア支援専門員が福祉施設・事業所等を訪問し、福祉人材センターへの求人・求職登録及びマッチングの促進に努めました。さらに、福祉サービスの質を高めるため、福祉従事者研修の充実を図ったほか、運営適正化委員会による苦情解決、福祉サービス第三者評価の実施、介護サービスの情報公表制度の適切な運営に努めました。

基本方針の4点目である「組織・経営基盤の強化」では、社会福祉法をはじめとする関連法令に即した法人運営を進めるとともに、会員の拡大、自主財源の確保に努めたほか、職員が働きやすい

環境の整備に向け、健康経営の推進、メンター制度の導入を行いました。さらに、秋田県社会福祉会館の指定管理者として、適正な管理運営と会館の利用促進に努めました。

このほか、大規模災害への対応として、7月の大雨災害では秋田県災害ボランティア支援センターを開設し、県内市町村社協の協力のもと、被災地の災害ボランティアセンターの運営を支援したほか、要請により石川県志賀町・珠洲市、山形県酒田市に職員派遣を行いました。

2. 基本方針ごとの総括

《基本方針1》 地域共生のための体制づくり

- 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障害者などが地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援する「日常生活自立支援事業」では、県内各市町村福祉生活サポートセンターにおいて16,782件の相談に対応しました。また、実利用件数は644件(前年度比18件増)と過去最高を更新し続けており、今後も増加が見込まれる利用ニーズに対応しながら、併せて事業の適正性も確実に担保できるよう、一層の体制強化を図ってまいります。

「権利擁護支援の体制構築モデル事業」では、横手市社協を継続してモデル指定し、令和6年度に同社協が市から中核機関として受託した「成年後見推進事業」とも連携しながら、弁護士、司法書士等による推進委員会や現地指導を通じて、行政とともに令和7年度からの権利擁護センターの設置と法人後見の実施に向けた検討を行いました。

県からの受託事業である「成年後見制度利用促進事業」では、司法等専門職や中核機関等職員が参画する県域協議会(4回開催)を通じて事業の方向性等を確認しながら、社会福祉協議会等による法人後見受任体制の整備、権利擁護支援にあたる関係職員への意思決定支援の理解促進、成年後見の利用を促進する上での相談支援の実務に関する研修会を開催しました。

また、中核機関の設置状況や法人後見の実施状況等に合わせた地域会議を4回開催したほか、各自治体の課題や実情に応じて、中核機関の設置や法人後見導入などの仕組みづくり等に向けて理解促進を図るため、3市町村に対してアドバイザー派遣を行いました。

さらに、自治体や地域包括支援センター等の窓口において、相談を受けて最適な権利擁護支援につなげるためのツールとしてパンフレットを作成し、関係機関に配布しました。

- 低所得世帯等の生活基盤を支える制度の一つである「生活福祉資金貸付事業」の貸付件数は、総合支援・福祉・教育の3資金合わせて154件となりました。

償還計画額に対する償還実績額の割合を示す償還率は、全体で9.20%と、前年度と比較して1.24ポイント低下しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の資金需要に対応するため実施した特例貸付は、83件の償還猶予及び254件(約8,800万円)の償還免除を決定しました。償還開始から2年が経過する中で、償還率は全体で17.90%と、前年度と比較して2.86ポイント低下しています。

今後も市町村社会福祉協議会と連携して借受人の生活実態の把握等を含めたフォローアップ支

援の取組を強化します。

- 本会が設置する地域福祉推進委員会において、過去 5 年間で各福祉関係団体から国・県・市町村に対して行ってきた政策要望、政策協議の結果及び以降の経過、現状分析について取りまとめ、それを踏まえて、各団体が捉えている福祉課題について改めて調査を行いました。

調査により把握した福祉課題をもとに、2 点の政策要望事項と 4 点の政策協議テーマを整理し、秋田県と地域福祉推進委員会共催による「秋田県地域福祉行政懇談会」の場において、県健康福祉部及び県教育庁幼保推進課と地域福祉推進委員会委員による要望活動及び意見交換を行ったほか、各市町村に対しても書面により 2 点の要望・提言を行いました。

要望への回答や協議結果は本会広報誌や Web サイトでの公開を通じて関係者や一般県民に向けて発信し、福祉課題への理解促進を図りました。また、それらの内容については継続して状況を注視し、必要に応じて再度要望や協議を行うほか、新たな福祉課題の把握に継続して取り組み、行政と福祉関係者との協働の基盤づくりに向けた更なる調査研究や要望・提言等に展開します。

- 地域共生社会の実現に向けて重要な役割を担う市町村社会福祉協議会における様々な地域福祉実践を共有し、これからの取組に活かすことを目的に「トータルケア推進会議」を開催し、65 名が参加しました。開催に当たり、内容や実践発表者の選定などに関して秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研究会と連携・協力しました。

また、地域住民一人ひとりが主体的かつ相互に支え合う地域づくりに向け、「地域で気になる人」と地域住民等の関係を「見える化」し、地域の福祉課題を把握する手段となる「支え合いマップ」づくりの実践を進めるため、指導者となるインストラクターの養成に取り組む「地域の福祉力向上事業」を実施し、18 名が修了しました。

また、「ネットワーク活動連携推進モデル事業」では、潟上市、大仙市、八峰町をモデル社協に指定し、情報管理システム導入による既存の多様な見守り活動との効果的な連携の推進による小地域ネットワーク活動の充実・強化を図りました。

- 本会が市町村社会福祉協議会とともに取り組んでいる「秋田県地域福祉トータルケア推進事業」は、地域共生社会の実現に向けて必要な「重層的支援体制整備事業」の実施や、全社協が策定する「社会福祉協議会基本要項 2025」など地域福祉を巡る動向を踏まえ、「地域福祉トータルケア推進事業検証委員会」を設置して、これまでの取組の検証と今後の方向性について協議を重ねました。

市町村社会福祉協議会からの丁寧な意見聴取を行う必要があることから、令和 8 年 4 月の実施要綱改正を目指し、令和 7 年度も検討を継続します。

- 「新しい総合事業の取組支援事業」では、生活支援コーディネーターの活動支援や、自立支援型地域ケア会議実践、自立支援・介護予防普及アドバイザー養成・フォローアップといった各種研修会を開催しました。

また、地域包括ケアシステムの深化に向けて、三種町に専門職を派遣したほか、能代市、湯沢市、三種町に自立支援介護予防普及アドバイザーを派遣し、自立支援型地域ケア会議の普及に向けた

取組を促しました。

また、高齢者総合相談・生活支援センターでは、高齢者やその家族等が抱える心配ごとや悩みごとの相談、権利擁護相談など 915 件に対応したほか、県民介護講座（161 名受講）や福祉用具等に関する研修（148 名受講）を実施し、県民の介護に関する知識と技術の習得を支援しました。

- 高齢者が犬や猫を飼うことには、精神の安定や認知症予防、社会とのつながりの維持、運動量の増加などの様々なメリットがあると言われていた一方、飼い主の病気、入院、死亡等による飼育放棄や、飼育放棄を回避するためにヘルパーやケアマネジャーなどがやむなく本来業務の範囲を超えた援助を行わざるを得ない状況が少なくないという課題も指摘されています。

そこで、人間の福祉と動物愛護の双方を実現させるため、高齢化が進みつつも「動物にやさしい秋田」を掲げる本県において、高齢者がペットと暮らしながら、同時にペットも幸せになるために何が必要かを考えることをテーマとした県民フォーラムを開催（95 名参加）しました。

《基本方針 2》 住民参加による地域づくり

- 地域共生社会の実現に向けた重要なツールの一つである福祉教育の推進のためには、教育関係者や幅広い福祉関係者、地域住民の参画のもと、協同実践のできるプラットフォームを構築し、活動プログラムを作成・実行する必要があることから、その具体的実践に向けた今後の福祉教育の推進や連携・協働のあり方などを学ぶことを目的に「福祉教育推進セミナー」を開催し、22 名が参加しました。

また、県内における福祉教育の推進のため、関係機関・団体の参画のもと、福祉教育推進検討委員会を 3 年間、全 7 回にわたって開催し、目的や対象に応じたプログラムの作成や教育委員会等との連携のあり方について検討を重ね、「秋田県版福祉教育の手引書（ガイドブック）」を作成しました。

県内の中学校・高等学校・特別支援学校の生徒が取り組むボランティア活動等の地域貢献活動を促進することを目的に、8 校（中学校 3、高等学校 2、特別支援学校 3）に対し助成を行い、その成果を広く周知するために実践発表会を開催（23 名参加）しました。

- 子どもの居場所づくり等に取り組む団体等の連携や支援の強化を図るため、専任のコーディネーターを 1 名配置し、団体等への訪問・ヒアリングを行うとともに、県内 8 地区において情報交換会を開催し、取組の現状と課題の把握や情報共有を行いました。

また、スーパーや J A、商工会連合会等を訪問し、子ども食堂等に対する食材提供等の支援の呼びかけを行ったほか、県民・企業からの寄附・ボランティア活動希望の申し出に対し、団体等の意向を確認しながら寄附等 77 件、ボランティア 39 件の受入れを調整しました。

加えて、株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの協定に基づくフードドライブ活動を秋田市と大館市で実施しており、今後はそれ以外の地域でも展開していきます。

秋田県が設置した「地域共生社会官民連携プラットフォーム」の会員として、市町村社会福祉協

議会やNPO法人等と連携・協働しながら孤独・孤立支援に向けて取組を進めていきます。

「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」及び「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」は、新規利用実績が全体で 4 件と少ない状況にあります。自立した生活を目指す人にとっては重要な制度であることから、引き続き関係機関等を通じた制度周知を図り、社会的な支援が必要な人の利用に結び付くよう取り組みます。

- 高齢者が住み慣れた場所で自立した生活するため、生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下の防止を図る、フレイル予防が重要であることから、フレイル予防推進検討委員会を立ちあげて認知症予防の視点から事業に取り組みました。

フレイル予防の取組として、e スポーツを活用した認知機能検査及び運動機能などの効果検証を秋田大学高齢者医療先端研究センターの協力を得て、県内 3 か所（秋田市 2 か所・仙北市）において実施したところ、記憶力や情報処理速度といった認知機能の改善など一定の効果が得られました。

また、県内全域への e スポーツ普及に向けて 17 名のフレイル予防サポーターを養成したほか、広く県民や関係者の理解促進を図るために体験会を開催（124 名参加）しました。

- 近年多発する自然災害に備え、平時からの体制整備を図るとともに、災害発生時に、被災地支援関係者のコーディネートや、行政・関係機関との連携を図りながら調整を行う「秋田県災害福祉支援センター」の設置について検討するため、「秋田県災害福祉支援センター（仮称）検討委員会」を立ち上げ、協議を 4 回行いました。

- 地域における災害支援体制の構築に向け、これまで養成してきた災害ボランティアコーディネーターのフォローアップを目的とした研修（65 名参加）を行いました。

さらに、災害ボランティアセンターの運営に協力する住民ボランティアの養成を目的とした「災害ボランティア活動実践研修会」を能代市、大館市、小坂町の計 3 か所で開催したほか、行政と社協合同で実施する「災害ボランティア実地訓練」を上小阿仁村で開催（32 名参加）しました。

このほか、被災地の避難所に避難している高齢者や障がい者等の災害時要配慮者の福祉ニーズに支援を行う「災害派遣福祉チーム（DWA T）」を派遣できるようチーム員の登録研修（14 名登録）やスキルアップ研修（41 名参加）を行ったほか、秋田県総合防災訓練等に 2 回参加しました。

- 令和 6 年 7 月の大雨災害により県内に甚大な被害が発生し、3 市町村で災害ボランティアセンターが設置されました。特に由利本荘市とにかほ市では県内から多くのボランティアを受け入れて被災者支援と復旧作業に当たりました。一方で、生活弱者への災害時の対応が大きな課題となり、災害福祉支援機能の構築を考える契機となりました。

- 県内も含め、全国各地で地震や豪雨等の大規模災害が相次いで発生する中で、県及び秋田市からの受託事業の一部である中堅民生委員・児童委員研修では、各単位民児協の役員を主な対象に、被災した際の地域課題や、災害時に被災者を支援へつなげるための声のかけ方、見守りのポイント

トなどについて学ぶとともに、災害時及び平常時の民生委員・児童委員活動について理解を深めることを主題として県内4地区で各1回開催し、合計362名が参加しました。

- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進については、令和6年10月19日から4日間にわたって開催された第36回全国健康福祉祭とっとり大会に、本県から81名の選手団を派遣しました。また、秋田県版「いきいき長寿あきたねんりんピック」では、19種目を開催し1,494名が参加したほか、関連イベントである「ねんりん美術展」では、75名が出品した作品を4日間にわたって展示し、観覧者636名を集めるなど、スポーツや文化活動を通じて社会参加の促進を図りました。

また、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、交流の場を提供することを目的に、「ロングライフ講座」を県内7か所（秋田市、能代市、横手市、大館市、湯沢市、潟上市、北秋田市）で各2回開催し、延べ318名の参加がありました。

さらに、高齢者が活躍できる機会の創出・拡大を目的として、地域の課題解決や地域の活性化に資する活動やフレイル予防のための活動に取り組む10団体に対して助成を行い、高齢者が中心となって住民同士のつながりを広げる地域づくりを促進しました。

- 生活上の問題を抱える個人や世帯に対する個別支援と、それらの人々が暮らす地域における生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援を一体的に展開できる人材を養成するため、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修を前期・後期2回に分けて延べ5日間実施し、修了者は令和6年度末までの累計で496名となりました。

地域共生社会の実現に向けた「重層的支援体制整備事業」の実施等に当たっては、地域の多様な生活課題や制度の狭間の問題に対し、個別支援と地域支援を通じて課題解決を図る専門職の必要性が高まっていることから、今後もコミュニティソーシャルワーク実践の有効性を広く周知するとともに、実践者の養成を継続していきます。

- 市町村社会福祉協議会の地域福祉担当者によるオンライン情報交換を定期的に行い、その中で地域の社会福祉法人と社会福祉協議会が連携した取組の実践を共有しました。今後は複数の社会福祉協議会の連携・協働による広域的な事業実施の実現に向けて検討していきます。

《基本方針3》 福祉サービスの基盤づくり

- 福祉・介護を支える多様な人材を確保するため、厚生労働大臣の許可による無料職業紹介事業として運営する「福祉保健人材センター」において福祉・介護の業務に従事するための相談、求人・求職登録、求職者紹介及び資格取得方法に関する情報提供などを行うとともに、関係機関・団体の主催する人材確保関連イベントに積極的に参画し、福祉人材の確保とマッチングに努めました。窓口業務のほか、県内3地区（大館市・秋田市・横手市）に福祉人材キャリア支援専門員を配置し、福祉事業所への就労希望者の職業紹介と求人事業所に対する人材の確保支援の強化を図りました。

「ふくしのしごと総合フェア」は、福祉業界への就職を希望する学生や求職者と福祉事業所の担当者が直接面談できる貴重な機会として2回開催しました。

○ 「介護人材確保対策事業」では、専門アドバイザー（社会保険労務士・中小企業診断士）や理学療法士を 14 事業所に派遣したほか、採用力の向上を目的としたセミナーや「エルダー・メンター制度」導入に向けたセミナーに加え、新人介護職員の定着を図る研修を開催するなど、福祉・介護事業所を対象とする各種支援事業を通じ、福祉・介護人材の確保支援と職場定着の促進に継続して取り組みました。

○ 中長期的な視野に立った人材確保策として、「介護の職場体験事業」を引き続き行うとともに、小冊子「介護の仕事ハンドブック」を作成し県内の高校 1 年生等へ配布したほか、中学校の生徒やその保護者、教職員を対象に福祉の仕事の魅力を分かりやすく伝えるセミナーを開催するなど、福祉・介護の仕事に対する若年層の理解促進及び参入促進を図りました。

また、新たに、就職や進学で福祉分野に関心のある高校生等が福祉の仕事の現状を学ぶ「高校生の福祉の職場体験事業」を県内の福祉施設・事業所で実施しました。

○ 介護の仕事に興味を持つ人や就労意欲のある中高年世代、退職者、主婦層、学生などを対象に、「介護の入門的研修事業」を実施し、介護の入門的研修への参加と介護現場での職場体験を通じ、新規就労・再就労を支援しました。

○ 介護福祉士養成校やハローワーク、福祉・介護事業所等の協力のもと、介護福祉士修学資金等貸付事業（介護福祉士等修学資金、介護福祉士実務者研修受講資金、離職介護人材再就職準備金の貸付）と福祉系高校修学資金等貸付事業（福祉系高校修学資金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金の貸付）を実施し、福祉・介護人材の確保や再就労支援等に努めました。このほか、県内外の保育士養成施設に在学する学生を対象に保育士修学資金貸付事業を実施し、保育士資格の新規取得の促進と県内の保育士の確保に努めました。

○ 秋田県から受託している福祉保健研修事業では、経験年数に基づく階層別研修や職域研修など、全 17 コース（25 回延べ開催日数 45 日）の研修を実施し、福祉保健従事者に求められる資質や専門性の向上、地域福祉推進・相談援助等の専門職として必要な知識・技術の習得を図りました。

受講総定員 1,835 名に対し、受講実人数は 929 名と定員を下回る結果になりましたが、研修受付システムを通じて繰り返し受講を呼びかけたほか、可能な限り受講者の受入に努め、研修機会の提供・確保を図りました。

認知症介護研修及び自主企画研修事業（全 20 コース、27 回）では、認知症高齢者介護事業所の役職員を対象とした基礎研修や専門性の高い実践研修を実施したほか、虐待・ハラスメント防止研修や説明力強化研修、OJT リーダー研修など、福祉保健事業の現場での課題対応力向上、業務を円滑に進めていくスキルアップや職場環境づくりの促進に資する研修等を実施しました。受講総定員 1,360 名に対し、受講実人数は 1,009 名でしたが、福祉保健事業者や従事者の研修ニーズに応えられるよう、研修内容の充実に努めました。

介護職員等によるたんの吸引等研修事業では、特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、安全にたんの吸引等を行うことができるよう研修を実施し、受講人数は 151 名でした。また、た

んの吸引等を行える登録特定行為事業者 13 施設、認定特定行為業務従事者 181 名の新規認定について対応しました。

介護支援専門員養成事業では、介護支援専門員の確保及び養成のため、実務研修受講試験を実施するとともに実務研修を行いました。研修の受講者数は 133 名で、受講修了者数は 133 名でした。実務研修の実施に当たっては、受講者の利便性向上のため、研修の内容に応じてオンライン研修と集合型研修を併用して実施しました。

- 福祉サービス利用者、家族等から来所・電話・FAX・メール等で「秋田県運営適正化委員会」に寄せられた苦情件数は 29 件（前年度 19 件）で、助言や他機関の紹介のほか、必要に応じて事情を調査し、その解決を図りました。また、各種相談や問い合わせが 35 件（前年度 13 件）あり、どこに相談していいのかわからない人の悩みに寄り添うとともに、必要に応じ、関係機関に繋げました。苦情解決事業では、引き続き利用者や家族等が苦情申し出を行いやすい環境づくりに努めるとともに、日常生活自立支援事業の運営監視についても事業の適切な運営を確保するため、第三者機関として機能の発揮に努めていく必要があります。
- 介護サービス情報の公表事業では、事業所から報告された介護サービス情報を訪問調査等により確認し、1,910 件の事業所情報の公表を行い、利用者の事業所選択の参考とするとともに、介護サービスの質の向上を図りました。
- 社会福祉施設経営指導事業では、社会福祉法人や事業所の経営に関する一般相談・専門相談を通じ、56 件（前年度 63 件）の相談に対応しました。非常勤相談員による専門相談が 30 件、常勤相談員による一般相談が 26 件となっており、主な相談は、施設経営に関するものが 29 件、会計事務に関するものが 11 件、労使問題に関するものが 5 件などとなっています。
相談は社会福祉法人に偏っていることから、県と連携しながら社会福祉法人以外の福祉施設経営者に対して事業の周知を図る必要があります。

《基本方針 4》 組織・経営基盤の強化

- 理事会を 2 回、評議員会を 2 回、監事会を 2 回、評議員選任・解任委員会を 2 回、正副会長会議を 4 回開催し、法人の適正な運営に努めました。
- 社会福祉法人が運営する事業所に限らず多くの事業所の加入促進に努め、一般会員 3 か所、賛助会員 15 か所を新たに会員として迎え入れることができました。会員に対しては、広報「社会福祉あきた」やメールマガジンによる情報提供のほか、本会の自主企画研修の受講料や第三者評価の受審料の割引を行い、会員サービスの充実に努めました。
- 自主財源の確保に向け、火災共済、自動車共済やがん保険の加入促進、自動車リースの促進、常

備薬の斡旋などを行いました。火災共済は新規で大口契約があり、前年度を約 250 万円上回る実績となりましたが、自動車共済は、契約更新できなかったケースがあり、前年度を約 128 万円下回る実績になりました。厚生事業は、本会の自主財源の重要な柱になっていることから、引き続き会員の理解と協力により財源の確保に努めます。

- 秋田県社会福祉会館の管理運営については、新規利用者の開拓に向けた企業等訪問、ダイレクトメールによる利用促進に努めるとともに、県の公共施設等総合管理計画に基づき、空調機更新工事（県発注）を行うなど、県と協議して必要な修繕を実施しました。

しかし、工事に伴う会議室の利用制限や大口利用者の予約キャンセルなどもあって、有料会議室等の利用は前年度より 107 件減り、利用料収入は約 114 万円減収になったほか、設備運転管理委託費の高騰などの影響を受け、経常増減差額はマイナスになりました。今後も厳しい運営状況が続くことが予想され、利用料金の見直し等を県と協議するとともに経費節減に取り組んでいきます。

- 「職員業務目標評価、能力評価実施要領」に基づき業務目標評価及び能力評価を行い、職員のヒアリング等を通じて意識改革や業務改善が進むよう努めました。また、職員の専門性確保のため資格取得の支援を行い、1 名が社会福祉主事任用資格を取得したほか、県や県共同募金会への職員派遣、県からの職員 1 名の受入れを通じ、組織の活性化と職員の資質向上を図りました。

3 事業内容

《基本方針1 地域共生のための体制づくり》

推進項目1 地域づくり活動の基盤整備

＜事業項目1 地域における支え合いの仕組みづくりの推進＞

1 トータルケア推進会議の開催【共同募金助成事業】

期 日 令和7年3月7日(金)

会 場 秋田市民交流プラザ 多目的ホール（オンライン併用）

参加者 65名（会場18名、オンライン47名）

内 容 実践発表

「重層的支援体制整備事業による相談支援体制づくり」

能代市社会福祉協議会 地域福祉課長 斉藤洋子 氏

「支え合いマップによる地域支援」

三種町社会福祉協議会 地域福祉課主席係長 伊東智子 氏

「他機関と連携した生活困窮者支援」

秋田市社会福祉協議会 総務管理課主任 三浦優利佳 氏

「社協と地域住民の連携でつくるこどもの居場所づくり」

仙北市社会福祉協議会 地域福祉課主事 鈴木梓 氏

「地域と連携した生活支援」

横手市社会福祉協議会 地域福祉課係長 大坂智子 氏

「福祉教育推進員によるプラットフォームの構築」

湯沢市社会福祉協議会 地域福祉課長 築瀬和子 氏

「住民主体による指導支援の仕組みづくり」

羽後町社会福祉協議会 事務局次長 小林諭史 氏

総括講義

講師 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策 氏

2 ネットワーク活動連携推進モデル事業の実施【共同募金助成事業】

小地域ネットワーク活動の充実・強化に向けて、以下の社会福祉協議会をモデル指定し、情報管理システムの導入により相談支援業務の効率化を図り、ネットワーク会議の開催や民生委員等との情報共有など連携した。

モデル指定 大仙市社会福祉協議会（継続）

潟上市社会福祉協議会（新規）

八峰町社会福祉協議会（新規）

3 地域の福祉力向上事業【共同募金助成事業】

(1) 地域の福祉力強化研修（支え合いマップインストラクター養成講座）

期 日 令和6年8月27日(火)～28日(水)、11月11日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 18名

内 容 講義・演習

講 師 淑徳大学総合福祉学部 教授 菅野道生 氏

4 善意銀行の運営

(1) 金銭・物品の預託の受け入れ、調整、払出し

〔金銭預託状況〕 預託件数 7件 預託金額 458,045円

〔金銭払出状況〕 払出件数 4件 払出金額 1,400,000円

あきた子ども応援ネットワーク登録団体へ 4件(28か所)

〔物品預託状況〕

預託件数 8件

(預託物品)

座布団(9枚)

車椅子(自走式10台、リクライニング式10台)

点字カレンダー(150部)

自走式車椅子(10台)

トイレットペーパー(4,000個)

パソコン・モバイルルーター(1台)

カレンダー(50部)

車椅子(自走式1台)

〔物品払出状況〕

物品払出件数 62件

(払出先)

県内社会福祉施設等 27件

県内市町村社会福祉協議会 29件

県内社会福祉団体等 6件

(2) 広報

「社会福祉あきた」へ掲載

贈呈式の様子をフェイスブックへ投稿

(3) その他助成・奨励事業の情報提供・斡旋

民間社会福祉助成事業の紹介

ホームページへの掲載・周知

福祉関係者への助成・車両寄贈の寄贈先の調整

生命保険協会秋田県協会からの寄贈

市町村社会福祉協議会 1か所へ車両1台

障害者福祉施設 3か所へ各100,000円

高齢者支援団体 2 か所へ各 75,000 円
NHK・NHK 厚生文化事業団からの寄贈
老人福祉施設 1 か所へ車両 1 台

5 共同募金運動への協力

広報「社会福祉あきた」への掲載

ホームページへの掲載

メールマガジン等を通じた普及・啓発

赤い羽根共同募金広域助成交付書伝達式への係員派遣

赤い羽根共同募金広域助成公開プレゼンテーションへの係員派遣

赤い羽根共同募金運動街頭募金への参加

＜事業項目2 民生委員・児童委員の活動への支援＞

1 民生委員・児童委員の資質向上

(1)民生委員児童委員協議会会長研修

期 日 令和6年10月21日(月)～22日(火)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）

参加者 128 名（他、市町村民児協事務局職員 7 名参加）

内 容 行政説明「委員委嘱状況と一斉改選に向けた取組みについて」

秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課 調整・地域福祉チーム職員
講義「民児協運営に必要な基礎知識と会長の役割」

～令和7年改選に向けて～

講師 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原辰二 氏
実践発表「委員活動の実際と民児協としての取組」

「令和5年7月大雨災害における対応について」

発表者 秋田市築山地区民生児童委員協議会 会長 鈴木夏代 氏

「なり手確保に向けた取り組みについて」

発表者 能代市二ツ井地区民生児童委員協議会 会長 清水博文 氏
グループ協議・発表・総括「委員の活動継続に向けた支援について」

講師 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原辰二 氏

(2) 中堅民生委員・児童委員研修会

＜県北地区＞

期 日 令和6年9月10日(火)

会 場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子（大館市）

参加者 67 名

＜秋田市＞

期 日 令和6年9月11日(水)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ（秋田市）

参加者 85 名

<県央地区>

期 日 令和 6 年 9 月 18 日 (水)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ (秋田市) ※オンライン併用 (全県対象)

参加者 136 名 (会場 42 名、オンライン 94 名)

<県南地区>

期 日 令和 6 年 9 月 19 日 (木)

会 場 横手市十文字地区交流センター (横手市)

参加者 74 名

内 容 講義「防災や減災と地域づくり

～民生委員・児童委員の災害時の対応について～」

演習「災害時と平時において様々な対応とその効果

～求められる総合的な調整と地域福祉の推進～」

講師 一般社団法人 BIG UP 石巻 代表理事 阿部由紀 氏

(3) 新任民生委員・児童委員ステップアップ研修〔相談援助技術編〕

<秋田市>

期 日 令和 6 年 7 月 18 日 (木)

会 場 秋田キャッスルホテル (秋田市)

参加者 104 名

<県南地区>

期 日 令和 6 年 7 月 23 日 (火)

会 場 横手市十文字地区交流センター (横手市)

参加者 81 名

<県央地区>

期 日 令和 6 年 7 月 25 日 (木)

会 場 秋田キャッスルホテル (秋田市) ※オンライン併用 (全県対象)

参加者 221 名 (会場 36 名、オンライン 185 名)

<県北地区>

期 日 令和 6 年 7 月 31 日 (水)

会 場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子 (大館市)

参加者 94 名

内 容 講義「住民の立場に立った相談援助活動をめざして」

演習「地域の身近な相談相手としての相談援助技法を身につける」

講師 複合老人福祉施設リンデンバウムいずみ

事務次長 保泉拓 氏 (秋田市)

特別養護老人ホームすこやか大雄

施設長 長山正弘 氏 (県南)

特別養護老人ホームすこやか横手

高齢者支援課課長 小林悠希 氏（県央）
大館市社会福祉事業団 本部事務局長 伊藤政利 氏（県北）

2 民生委員互助共励事業の実施

(1) 弔慰金及び見舞金等の給付

給付内容	公務傷害	一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労
件数	1 件	15 件	20 件	51 件	6 件	39 件
金額	30,000 円	450,000 円	200,000 円	490,000 円	550,000 円	157,000 円

(2) 指定民生委員児童委員協議会の育成

民児協名	活 動 の 重 点	現地訪問	会場
秋田市川尻地区 民生児童委員協議会	・子育て家庭への訪問、サロン活動 ・高齢者世帯のひきこもり防止	令和 7 年 2 月 11 日（火・祝）	川尻地区コミュニティセンター
横手市十文字 民生児童委員協議会	・緊急時要援護者支援活動の整備 ・相談機能及び民児協機能強化	令和 6 年 11 月 13 日（水）	横手市十文字地区交流センター

(3) 児童委員活動研修会

期 日 令和 6 年 8 月 20 日（火）

会 場 秋田キャッスルホテル（秋田市）※オンライン併用

参加者 245 名（会場 108 名、オンライン 137 名）

内 容 講義「こどもと家庭への支援について

～児童家庭支援センターが目指すもの～

演習「事例検討で学ぶ児童委員としての関わり方や対応方法」

講師 児童家庭支援センターこねくと センター長 富樫美和子 氏

(4) 生活福祉資金担当民生委員及び市町村社協担当職員合同研修会（別掲）

<事業項目 3 市町村社会福祉協議会の体制強化>

1 市町村社協の支援

(1) 個別支援の実施【共同募金助成事業】

実施延回数 103 回

(2) 市町村社協状況調査の実施

市町村社協の事業活動等の現状を基礎データとして把握・整備し、支援につなげた。

(3) 市町村社会福祉協議会連絡協議会の支援

①総会

第 1 回 日 時 令和 6 年 6 月 24 日（月）

会 場 オンライン

参加者 14 名
内 容 令和 5 年度事業報告及び収支決算、令和 6 年度事業計画（案）及び
収支予算（案）、役員改選について

②監事会

日 時 令和 6 年 5 月 29 日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館

③正副会長会議

日 時 令和 6 年 5 月 29 日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館

④企画委員会

第 1 回 日 時 令和 6 年 4 月 22 日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館、オンライン併用
参加者 7 名
第 2 回 日 時 令和 6 年 12 月 16 日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 6 名

⑤会長会議

日 時 令和 7 年 1 月 27 日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 21 名
内 容 情報交換Ⅰ「社協の経営課題と方向性について」
情報交換Ⅱ「今日の地域生活課題と解決に向けた取組について」

⑥リーダー層向け職員研修会

日 時 令和 7 年 2 月 5 日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 14 名
内 容 意見交換・情報交換「アウトリーチ支援、伴走型支援、自主財源の
確保」

(4) 地域福祉担当情報交換会の実施（オンライン情報交換会）

第 1 回 日 時 令和 6 年 5 月 27 日（月）
内 容 各社協の重点的に取り組む事業や新たな取組について
第 2 回 日 時 令和 6 年 8 月 22 日（木）
内 容 社協と社会福祉法人との連携・協働による取組について、市町村社
協間の連携・協働による取組について
第 3 回 日 時 令和 6 年 11 月 26 日（火）
内 容 孤独・孤立対策の取組状況について
第 4 回 日 時 令和 7 年 3 月 11 日（火）
内 容 住民福祉サービスの取組状況について

2 地域福祉推進体制強化のための会議の開催

(1) 市町村社協会長・事務局長合同会議

期 日 令和6年8月29日(木)～30日(金)

会 場 秋田キャッスルホテル

参加者 56名(市町村社協47名、県社協9名)

内 容 基調説明

講演「社協に求められる介護サービスを考える

～令和6年度介護報酬改定を踏まえて～」

兵庫県立大学大学院 客員教授 馬袋秀男 氏

会長・事務局長分科会

(2) 市町村社協事務局長等会議

期 日 令和7年2月19日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 51名(市町村社協32名、県社協19名)

内 容 事業説明「秋田県社会福祉協議会の令和7年度重点事業等について」

秋田県社会福祉協議会 各部部長

実践発表 「能代市社会福祉協議会の取り組み～重層的支援体制整備事業～」

能代市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 斉藤洋子 氏

行政説明 「地域共生社会の実現に向けた県の取組について」

秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課 副主幹 内藤麻衣子 氏

推進項目2 包括的支援体制の構築

＜事業項目1 日常生活自立支援事業の適正利用の推進＞

1 日常生活自立支援事業の実施

(1) 契約締結審査会

期 日 12回開催(毎月1回)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 契約締結申請ケースの審査

(2) 市町村福祉生活サポートセンターの機能強化及び専門員・生活支援員の資質向上

① 専門員連絡会議

期 日 12回開催(毎月1回)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 連絡調整、申請ケースについて質疑応答

② 専門員研修会

期 日 令和6年5月31日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第4会議室

参加者 15 名

内 容 事務手続きについて、専門員実践報告

③専門員実践力強化研修会（全国社会福祉協議会主催）への参加経費助成

ア 基本研修(オンデマンド配信)

配信期間 令和 6 年 9 月中旬～令和 7 年 2 月末

参加者 4 名（新任の専門員、基本的な内容の復習を希望する専門員）

主な内容 講義「専門員の役割、対人援助の基礎知識」他

イ 初任者研修（基本研修＋事前学習動画配信＋ライブ配信）

期 日 令和 6 年10月29日、11月25日（いずれかの日程を選択）

参加者 4 名（専門員としての業務経験が満 2 年未満の職員）

内 容 事例検討

ウ 現任者研修（基本研修＋集合研修）

期 日 令和 6 年12月19日（木）～12月20日（金）

参加者 3 名（専門員としての業務経験が満 2 年以上の職員）

内 容 実践報告、事例検討

④生活支援員研修会

県央地区 期 日 令和 6 年10月25日（金）

会 場 秋田県ゆとり生活創造センター 遊学舎 研修室 1～3

参加者 生活支援員 14 名、社協職員 7 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「意思決定支援について」

講師 特別養護老人ホームすこやか横手

高齢課支援課長 小林悠希 氏

県南地区 期 日 令和 6 年11月12日（火）

会 場 みさと福祉センター 集会室

参加者 生活支援員 36 名、社協職員 11 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「意思決定支援について」

講師 特別養護老人ホームすこやか横手

高齢課支援課長 小林悠希 氏

県北地区 期 日 令和 6 年11月27日（水）

会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム 1 階多目的ホール

参加者 生活支援員 15 名、社協職員 8 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「意思決定支援について」

講師 特別養護老人ホームすこやか横手

高齢課支援課長 小林悠希 氏

(3) 日常的金銭管理サービス実施状況調査及び事務取扱状況調査

調査回数 32 回

市 町 村	第 1 回調査日	第 2 回調査日
秋 田 市	令和 6 年 7 月 3 日 (水)	令和 7 年 2 月 4 日 (火)
能 代 市	令和 6 年 6 月 28 日 (金)	令和 6 年 11 月 18 日 (月)
横 手 市	令和 6 年 7 月 1 日 (月)	令和 7 年 1 月 9 日 (木)
大 館 市	令和 6 年 7 月 23 日 (火) 24 日 (水)	令和 7 年 1 月 23 日 (木) 24 日 (金)
男 鹿 市	令和 6 年 12 月 10 日 (火)	—
湯 沢 市	令和 6 年 8 月 19 日 (月)	令和 7 年 2 月 26 日 (水)
鹿 角 市	令和 6 年 9 月 3 日 (火)	令和 7 年 3 月 6 日 (木)
由利本荘市	令和 6 年 11 月 25 日 (月)	—
潟 上 市	令和 6 年 12 月 10 日 (火)	—
大 仙 市	令和 6 年 7 月 10 日 (水)	令和 6 年 12 月 23 日 (月)
北 秋 田 市	令和 6 年 8 月 8 日 (木)	令和 7 年 3 月 5 日 (水)
にかほ市	令和 6 年 11 月 25 日 (月)	—
仙 北 市	令和 6 年 7 月 12 日 (金)	令和 6 年 12 月 23 日 (月)
小 坂 町	令和 6 年 9 月 3 日 (火)	—
上小阿仁村	—	—
藤 里 町	令和 6 年 8 月 27 日 (水)	—
三 種 町	令和 6 年 7 月 5 日 (金)	令和 6 年 12 月 4 日 (水)
八 峰 町	令和 6 年 8 月 27 日 (水)	—
五 城 目 町	令和 6 年 8 月 2 日 (金)	—
八 郎 潟 町	令和 6 年 8 月 2 日 (金)	—
井 川 町	令和 6 年 8 月 2 日 (金)	—
大 潟 村	—	—
美 郷 町	令和 6 年 7 月 12 日 (金)	—
羽 後 町	令和 7 年 1 月 9 日 (木)	—
東 成 瀬 村	—	—

(4) 相談等の実施状況

① 相談受付状況 (県内市町村福祉生活サポートセンター実績)

相談件数 16,782 件

内 訳 認知症高齢者関係相談 9,708 件
知的障害者関係相談 2,937 件
精神障害者関係相談 3,757 件
その他相談 380 件

②契約締結の状況

契約件数 164 件

内 訳	認知症高齢者	113 件
	知的障害者	18 件
	精神障害者	26 件
	その他	7 件

③解約の状況

解約件数 146 件

内 訳	認知症高齢者	105 件
	知的障害者	13 件
	精神障害者	26 件
	その他	2 件

④実利用件数

契約件数 644 件

内 訳	認知症高齢者	418 件
	知的障害者	84 件
	精神障害者	132 件
	その他	10 件

＜事業項目 2 権利擁護センター設置の推進＞

1 権利擁護支援の体制構築モデル事業の実施【共同募金助成事業】

(1) 推進委員会

第 1 回	期 日	令和 6 年 8 月 20 日 (火)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における達成目標と事業計画 アドバイザーによる現地指導
第 2 回	期 日	令和 6 年 12 月 19 日 (木)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における進捗状況の確認
第 3 回	期 日	令和 7 年 3 月 13 日 (木)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における取組 (事業実施状況の報告、成果、課題及び今後の目標) 次年度の県及び県社協における取組予定

(2) アドバイザーによる現地指導等

横手市社協

第 1 回	期 日	令和 6 年 11 月 13 日 (水)
	会 場	協同組合横手卸センター

内 容 法人後見事業準備委員会での助言

第2回 期 日 令和7年3月10日(月)

会 場 雄物川コミュニティーセンター

内 容 講義・グループワーク「意思決定支援研修」

<事業項目3 成年後見制度の利用促進>

1 成年後見制度利用促進事業

(1) 成年後見制度利用促進実務研修会

期 日 令和6年9月5日(木)

会 場 秋田市民交流プラザ(秋田市)

参加者 56名(中核機関7、権利擁護センター2、行政5、社協7、包括23、相談支援事業所10、その他2)

内 容 講義Ⅰ「利用支援に伴うポイントと本人情報シートの書き方」

講師 秋田市社会福祉協議会 権利擁護センター長 永田泉 氏

秋田家庭裁判所 裁判所書記官 猿田洋美 氏

秋田家庭裁判所 裁判所書記官 村上成美 氏

講義Ⅱ「市町村長申立ての流れとポイント」

講師 湯沢市地域包括支援センター 主幹 佐藤由紀子 氏

講義・グループワーク「後見開始後の実務上の課題」

講師 公益財団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部

柴田緑 氏

(2) 市町村等の体制整備に関する巡回支援(アドバイザー派遣による巡回支援)

①上小阿仁村

期 日 令和6年9月26日(木)

派遣者 司法書士 山口祐三子 氏

参加者 北秋田市、北秋田市社協、上小阿仁村、上小阿仁村社協

内 容 広域連携支援体制を想定した意見交換会

②大館市社協

期 日 令和6年11月5日(火)

派遣者 弁護士 藤原美佐子 氏

参加者 大館市、大館市社協、包括、ケアマネ等

内 容 意思決定支援について

③美郷町

期 日 令和6年11月8日(金)

派遣者 弁護士 三浦広久 氏

参加者 美郷町、美郷町社協、障害者福祉施設職員

内 容 制度利用の必要性から申立ての流れについて

(3) 関係団体等との連携支援会議

① 県域会議

- 第1回 期 日 令和6年5月23日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和5年度事業及び市町村の体制整備状況、令和6年度事業について
- 第2回 期 日 令和6年8月5日(月)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 利用促進パンフレットの作成、市民後見人養成基礎研修進捗状況について
- 第3回 期 日 令和6年12月18日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 利用促進パンフレットの作成、市民後見人養成基礎研修実施報告について
- 第4回 期 日 令和7年3月19日(水) (書面開催)
内 容 育成方針、令和6年度事業の実施状況、令和7年度事業について

② 地域会議

中核機関未設置

- 期 日 令和6年10月9日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 中核機関設置に向けた取組と課題等について、中核機関設置の取組の共有について (美郷町、八郎潟町)

中核機関設置済み・委託

- 期 日 令和6年11月14日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 中核機関の取組の現状と課題について

中核機関設置済み・直営

- 期 日 令和6年11月21日(木)
会 場 秋田県総合生活文化会館 (秋田市)
内 容 中核機関の取組の現状と課題について

法人後見実施社協

- 期 日 令和7年1月29日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 法人後見実施に係る取組の現状と課題について

(4) 意思決定支援研修会

- 期 日 令和6年12月6日(金)
会 場 アキタパークホテル (秋田市)
参加者 31名 (中核機関3、権利擁護センター2、行政2、社協3、包括11、相談支援

事業所 7、その他 3)

内 容 講義・グループワーク「意思決定支援をふまえた後見事務のガイドライン」

講師 秋田弁護士会 高齢者・障害者問題対策委員長 藤原美佐子 氏

権利擁護センターぱあとなあ秋田 小林悠希 氏

(5) 法人後見受任体制整備研修会

期 日 令和 6 年 10 月 4 日 (金)

会 場 アキタパークホテル (秋田市)

参加者 21 名 (社協 11、施設法人 10)

内 容 講義「法人後見の必要性と取り組む意義」

講師 新潟大学法学部 教授 上山泰 氏

実践発表「社会福祉法人による受任体制整備に向けて」

新潟県 社会福祉法人上越福社会法人本部 副参事 細谷雄一 氏

潟上市 あきた成年後見センターつなぐ 顧問 小林顕 氏

仙北市社会福祉協議会 地域福祉課長補佐 武蔵弘康 氏

グループワーク「法人後見受任体制の整備に向けて」

質疑応答・総括講義

講師 新潟大学法学部 教授 上山泰 氏

(6) 成年後見制度等利用促進のための啓発パンフレット作成

作成数 5,000 部

配布先 644 か所 (市町村行政、市町村社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅
介護支援事業所、基幹相談支援センター、相談支援事業所、病院医療相談室)

<事業項目 4 生活困窮者支援の強化>

1 生活福祉資金貸付の推進

(1) 生活福祉資金運営委員会

原則として毎月 1 回開催し、新規申込、支払猶予、延滞利子免除等の審査を行った。

(11 回開催)

(2) 生活福祉資金の貸付状況等 (本則分)

◆ 申請及び貸付決定状況

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金	申 請	10(10)	3,850,000
	決 定	6(6)	1,770,000
福祉資金(福祉費)	申 請	33(1)	11,012,577
	決 定	30(1)	10,079,583
福祉資金(緊急小口資金)	申 請	64(22)	5,268,154
	決 定	54(20)	4,251,154
生活復興支援資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
教育支援資金	申 請	64(0)	75,030,876
	決 定	64(0)	74,242,200

合 計	申 請	171(33)	95,161,607
	決 定	154(27)	90,342,937

※（ ）は自立相談支援事業を利用した件数

※臨時特例つなぎ資金は申請なし

<不動産担保型生活資金>

区 分		件数(件)	金額(円)
不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申 請	1	4,445,000
	決 定	1	4,445,000
合 計	申 請	1	4,445,000
	決 定	1	4,445,000

◆支払猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	5	5
不動産担保型生活資金	1	1
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	2
合 計	8	8

◆延滞利子免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申 請	8	8,630,216
	決 定	8	8,630,216
不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
合 計	申 請	8	8,630,216
	決 定	8	8,630,216

◆償還免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申 請	58	53,958,565
	決 定	57	53,047,378
不動産担保型生活資金	申 請	1	1,400,195
	決 定	1	1,400,195
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
臨時特例つなぎ資金	申 請	1	50,020
	決 定	1	50,020
合 計	申 請	60	55,408,780
	決 定	59	54,497,593

(3)生活福祉資金の貸付状況等（新型コロナ特例分）

◆償還猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
緊急小口資金	44	44
総合支援資金（初回）	21	21
総合支援資金（延長）	3	3

総合支援資金（再）	15	15
合 計	83	83

◆償還免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
緊急小口資金	申 請	109	13,273,859
	決 定	109	13,273,859
総合支援資金(初回)	申 請	35	15,946,142
	決 定	35	15,946,142
総合支援資金(延長)	申 請	7	3,990,000
	決 定	7	3,990,000
総合支援資金(再貸付)	申 請	103	54,752,500
	決 定	103	54,752,500
合 計	申 請	254	87,962,501
	決 定	254	87,962,501

(4) 現地償還指導

①現地個別償還指導

滞納世帯の生活状況把握と自立に向けた支援を目的に、市町村社会福祉協議会の協力のもと、借受世帯等の自宅を訪問し、現地指導を行った。

対象：22 市町及び県社協扱いケース（800 件）

②初期滞納世帯への指導

償還期間が始まって間もない時期に滞納が続く世帯に対し、文書による注意喚起を（78 件）行うとともに、状況把握に努めた。

(5) 債権管理の強化推進

①顧問弁護士の指導・協力による長期滞納世帯の実態把握

償還残額通知の発行(年 2 回)

本則分：4,225 件、特例分：1,698 件 計：5,923 件

滞納に対する督促状の発行(年 2 回)

本則分：4,280 件、特例分：1,662 件 計：5,942 件

行方不明者の住所追跡（住民票の取得）

本則分：360 件、特例分：76 件 計： 436 件

内容証明郵便による通知の送付 21 件

②要保護世帯向け不動産担保型生活資金の不動産売却に向けた対応

任意売却による償還完了 3 件

◆償還状況（本則分）

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全債権	償還 期限内	当年度	51,156,433	40,380,443	78.94
		過年度	18,234,255	5,144,660	28.21
	償還期限後		57,708,403	11,137,455	19.30
	小 計		127,099,091	56,662,558	44.58

長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	11,768,800	648,390	5.51
		過年度	76,517,690	2,681,700	3.50
	償還期限後		675,723,933	22,019,573	3.26
	小 計		764,010,423	25,349,663	3.32
合 計			891,109,514	82,012,221	9.20

<不動産担保型生活資金>

区 分		貸付額	償還額 ※元金のみ	免除額 ※元金のみ
不動産担保型 生活資金	件数(件)	1	1	0
	金額(円)	8,086,370	8,086,370	0
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	件数(件)	3	3	0
	金額(円)	17,553,200	17,553,200	0
合 計	件数(件)	4	4	0
	金額(円)	25,639,570	25,639,570	0

<臨時特例つなぎ資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全 債権	償還 期限内	当年度	0	0	—
		過年度	0	0	—
	償還期限後		0	0	0.00
	小 計		0	0	0.00
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0	0	—
		過年度	0	0	—
	償還期限後		779,900	0	0.00
	小 計		779,900	0	0.00
合 計			779,900	0	0.00

◆償還状況（特例分）

<緊急小口資金、総合支援資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全債権	償還 期限内	当年度	138,947,700	34,463,819	24.80
		過年度	24,582,480	6,730,067	27.38
	償還期限後		80,849,762	2,555,299	3.16
合 計			244,379,759	43,749,185	17.90

(6)生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

期 日 令和6年12月5日(木)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田

参加者 139名

内 容 基調説明

「生活福祉資金貸付制度と生活福祉資金担当民生委員の役割について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

事例紹介「生活福祉資金貸付事業を通じた相談支援の実践」

発表者 潟上市社会福祉協議会 CSW 鎌田天嗣 氏
秋田市社会福祉協議会 総務管理課 三浦優利佳 氏
湯沢市社会福祉協議会 地域福祉課 佐々木身佳 氏
情報提供「居住支援活動について」
NPO 法人セーフティネット秋田つなぎ隊 松前克美 氏

2 特例貸付におけるフォローアップ支援の推進

(1) 借受人世帯の生活状況等の把握

償還免除済みの借受人に対するアンケート調査の実施（1,232 件）

(2) 生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会

（令和 6 年度生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援推進研修会を兼ねる）

期 日 令和 7 年 2 月 28 日（金）

会 場 秋田市民交流プラザ（秋田市）

参加者 31 名

内 容 説明「フォローアップ支援の推進状況等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

事例発表「借受人に対するフォローアップ支援の取組について」

発表者 能代市社会福祉協議会 くらしサポート相談室 土谷幹春 氏

羽後町社会福祉協議会 佐々木卓実 氏

大仙市社会福祉協議会 地域福祉課 深谷仁洋 氏

秋田市社会福祉協議会 総務管理課 三浦優利佳 氏

3 その他

(1) 市町村社会福祉協議会担当者向け説明会の開催

①期 日 令和 6 年 7 月 2 日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン形式）

参加者 51 名

②期 日 令和 7 年 1 月 10 日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン形式）

参加者 32 名

(2) 生活福祉資金貸付制度に関する研修・学習会への協力

令和 6 年 6 月 21 日（金） 大仙市民生委員・児童委員研修会

令和 6 年 7 月 16 日（火） 由利本荘市矢島地区民生児童委員協議会学習会

令和 6 年 8 月 28 日（水） 東由利地区民生児童委員協議会定例会

令和 6 年 9 月 20 日（金） 家計改善の理解を深める研修会（由利本荘市）

令和 6 年 11 月 20 日（水） 西目地区民生児童委員協議会定例会

令和 7 年 1 月 22 日（水） 男鹿市民生児童委員協議会役員研修会

＜事業項目 5 地域包括ケアシステムの推進＞

1 新しい総合事業の取組支援事業

(1) 生活支援体制整備支援事業

①生活支援コーディネーター活動支援研修「SC 初任者キャリアアップ研修」

第1回

期 日 令和6年10月8日(火)

会 場 秋田県 JA ビル(秋田市)

参加者 33 名

内 容 講義・演習「事業を再認識し、活動を活性化しよう」

講師 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 政策推進部副部長
国際長寿センター (ILC-Japan) 中村一朗 氏

第2回

期 日 令和7年2月18日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 32 名

内 容 講義・演習「2025 年からの生活支援体制整備事業 ～総合事業の一部改正から生活支援体制整備事業の役割を改めて考えよう～」

講師 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 政策推進部副部長
国際長寿センター (ILC-Japan) 中村一朗 氏

②生活支援コーディネーター活動支援研修（視察研修）

第1回 お互いさまスーパー みせっこあさみない視察研修

期 日 令和6年7月19日(金)

会 場 みせっこあさみない(五城目町)

参加者 10 名

内 容 講演「お互いさまスーパーみせっこあさみないができるまで」

講師 浅見内活性化委員会会長、浅見内町内会会長 渡邊律雄 氏

第2回 花巻市ご近所サポーター事業視察研修

期 日 令和7年2月19日(水)

会 場 花巻市役所(岩手県)

参加者 7 名

内 容 説明「市のご近所サポーター事業について」

講師 花巻市健康福祉部長寿福祉課

説明「ふるさと高松げんき村の活動について」

講師 ふるさと高松げんき村 事務局長 熊谷哲周 氏

③生活支援コーディネーター活動支援研修「SCのためのファシングラ講座」

期 日 第1回 令和7年1月16日(木)

第2回 令和7年1月22日(水)

第3回 令和7年1月29日(水)

会 場 第1回 サンサン横手(横手市)

第2回 大館市総合福祉センター(大館市)

第3回 秋田県社会福祉会館

参加者 第1回 7名

第2回 10名

第3回 3名

内 容 講義及び演習「ファシリテーションの役割とは」他

講師 合同会社秋田まちとケア協働舎 代表・主任介護支援専門員

市民活動団体おもしろど・かだればあ代表

NPO 法人まちづくり学校 事業推進部 鈴木のぞみ 氏

④生活支援コーディネーター情報交換会

期 日 第1回 令和7年2月10日(月)

第2回 令和7年2月20日(木)

第3回 令和7年2月28日(金)

会 場 第1回 能代市商工会議所(能代市)

第2回 はなび・アム(大仙市)

第3回 秋田県社会福祉会館

参加者 第1回 16名

第2回 10名

第3回 3名

内 容 情報交換「SC 業務、協議体、社会参加・生活支援の活動、地域住民との関わり」

ファシリテーター

合同会社秋田まちとケア協働舎 代表・主任介護支援専門員

市民活動団体おもしろど・かだればあ代表

NPO 法人まちづくり学校 事業推進部 鈴木のぞみ 氏

⑤生活支援コーディネーターリレートーク

配信 概ね月1回

(2) 自立支援・介護予防普及啓発事業

①自立支援・介護予防普及トップセミナー

期 日 令和6年11月15日(金)

会 場 秋田県 JA ビル (秋田市)

参加者 26 名

内 容 講演「道路運送法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドラ

インと全国の事例について」

講師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎民子 氏

事例報告会「秋田の移動支援最前線～住民の“普段”を支える、多様なアプローチを考える～」

東成瀬村健康福祉課 主任 齊藤優人 氏

羽後町社会福祉協議会 事務局次長 小林諭史 氏

大館市社会福祉事業団 生活支援コーディネーター 市村めぐみ 氏

由利本荘市地域づくり推進課 公共交通班班長 田口侑樹 氏

②自立支援型地域ケア会議実践研修「三種町で自分らしく老いるための講演会」（市民公開講座）

期 日 令和6年12月11日（水）

会 場 山本地域拠点センター（三種町）

参加者 131 名

内 容 行政説明「三種町の地域包括ケアシステムの充実に向けた取組について」

三種町地域包括支援センター

講演「かかりつけ医からのメッセージ」

講師 佐藤医院院長 佐藤家隆 氏

講演「介護予防とまちづくり」

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

③自立支援型地域ケア会議実践研修「自立支援型地域ケア会議司会者研修」

期 日 第1回 令和7年2月25日（火）

第2回 令和7年2月26日（水）

会 場 第1回 大仙市仙北ふれあい文化センター（大仙市）

第2回 トレイク潟上（潟上市）

参加者 第1回 10名

第2回 13名

内 容 講義・演習「地域ケア会議 進行の視点」

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

④自立支援・介護予防普及アドバイザー養成研修

期 日 令和6年11月11日（月）

会 場 秋田県 JA ビル（秋田市）

参加者 22 名

内 容 講義「オーラルフレイルと口腔機能低下症について」

講師 一般社団法人秋田県歯科医師会 会長 藤原元幸氏

講義「自立支援型地域ケア会議の推進・実践～秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザーとして活動するには～」

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

講義「自立支援型地域ケア会議において歯科衛生士に求められる役割」

講師 一般社団法人山形県歯科衛生士会 会長 佐藤奈美 氏

講義「自立支援型地域ケア会議において栄養士に求められる役割」

講師 公益社団法人山形県栄養士会 会長 柿崎明美 氏

⑤自立支援・介護予防普及アドバイザーフォローアップ研修

期 日 令和7年3月8日(土)

会 場 オンライン

参加者 10名

内 容 講義・演習「地域ケア会議 進行の視点」

講師 東海大学建築都市学部 建築学科 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

(3) 自立支援・介護予防普及アドバイザー、専門職派遣事業

①専門職派遣（自立支援型地域ケア会議）

派遣職種 薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、
言語聴覚士、福祉用具専門相談員

派遣場所 三種町 令和6年5月29日(水)
令和6年8月28日(水)
令和6年11月27日(水)
令和7年2月26日(水)

②自立支援・介護予防普及アドバイザー派遣(自立支援型地域ケア会議等)

派遣場所 能代市 令和6年6月21日(金)
湯沢市 令和6年9月12日(木)
令和6年10月3日(木)
令和6年12月12日(木)
令和7年2月3日(月)
三種町 令和6年5月29日(水)
令和6年8月28日(水)
令和6年11月27日(水)
令和7年2月26日(水)

2 高齢者総合相談・生活支援センター運営事業の推進

(1) 一般相談及び専門相談

相談日 月曜日から金曜日

相談件数

(単位：件)

相談種別 \ 相談経路	一 般	専 門	合 計
家族・家庭関係	570	0	570
法律関係	99	56	155
経済・生活関係	49	3	52
福祉サービス関係	82	0	82
生きがいづくり関係	3	0	3
保健・医療関係	38	0	38
認知症	15	0	15
合 計	856	59	915

(2) 福祉用具に関する相談支援、福祉用具等の展示/通年

①福祉用具管理状況 令和7年3月31日現在

【大分類】 5分類 【分類項目】 13項目 【展示点数】 213点

②福祉用具及び住宅改修等の相談件数実績

令和6年4月1日～令和7年3月31日 祉機器、住宅改修に関する相談件数9件

(3) 自立支援・介護予防に関する講座(県民介護講座、福祉用具選択コース)の開催

①県民介護講座の開催(年6回)

ア 期 日 令和6年7月29日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 29名

内 容 講義「脳も心も楽しく、eスポーツでフレイル予防」

人と繋がり、趣味余暇活動を広げよう～eスポーツに挑戦～

講師 eSocial Cue 株式会社 若狭利伸 氏

イ 期 日 令和6年8月26日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 26名

内 容 講義「介護は突然に!!」自分ごと、他人ごと?

慌てない・焦らない!～でもどこに連絡するの?～

講師 泉地域包括支援センターリンデンバウム

金野大志 氏

ウ 期 日 令和6年9月30日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 28名

内 容 講義「介護は突然に!!」慌てない・焦らないために!

～今から社会資源と介護保険を学ぶ～

講師 泉地域包括支援センターリンデンバウム

金野大志 氏

- エ 期 日 令和6年10月21日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 29名
 内 容 講義「元気がいちばん！そうは言っても・・・」
 介護が必要となったら？～介護保険の手続きを実際に体験～
 講師 社会福祉法人 秋田けやき会 ウエルハウス御所野
 長澤利一 氏
- オ 期 日 令和6年11月11日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 23名
 内 容 講義「介護が必要になったら？」家事、入浴、病気のサポート
 ～家でどんなことをしてもらえるの？費用は？～
 訪問介護・訪問入浴・訪問看護
 講師 アースサポート(株) 遠藤沙恵 氏
 ごてんまりZ訪問看護ステーション 斉藤翔吾 氏
- カ 期 日 令和6年12月9日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 26名
 内 容 講義「介護が必要になったら？」車椅子・ベッド・トイレ
 ～買う？買わない？借りる？費用は？どこに連絡？～
 講師 みらい工房 早瀬尚文 氏

②福祉用具選択コース

- ア 期 日 令和6年4月19日(金) 令和6年5月10日(金)
 令和6年5月24日(金) 令和6年6月7日(金)
 令和6年6月21日(金) 令和6年7月5日(金)
 令和6年9月20日(金) 令和6年9月27日(金)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 秋田大学 学生 計119名
 内 容 講義・実習「自立を支える福祉用具について」
 講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
- イ 期 日 令和6年4月23日(火)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 秋田県健康福祉部長寿社会課 介護保険班 2名
 内 容 講義・実習「在宅生活を支える福祉用具について」
 講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
- ウ 期 日 令和6年7月17日(水)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 秋田県看護協会 20名

内 容 講義・実習「在宅生活を支える福祉用具について」
講 師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

エ 期 日 令和6年7月24日(水)、令和6年8月2日(金)
令和6年10月28日(金)、令和6年12月25日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 高校生 7名

内 容 講義・実習「高齢者疑似体験」

講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

(4)介護保険に関する相談・苦情の状況調査

介護保険に関する相談・苦情の状況を調査、集計を行っている。調査結果を秋田県国民健康保険団体連合会に情報提供することにより、対応の連携を図った。
報告計 17 件

推進項目 3 行政と社協のパートナーシップの強化

<事業項目 1 生活福祉課題に対する調査研究・提言機能の強化>

1 地域福祉推進委員会

(1)地域福祉推進委員会

第1回 期 日 令和6年6月27日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

内 容 専門委員会の実施状況について
令和6年度福祉課題について

第2回 期 日 令和6年7月24日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

内 容 令和6年度における県との政策要望・政策協議について

第3回 期 日 令和6年12月6日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

内 容 県との政策協議及び県・市町村への政策要望について
専門委員会の取組状況について
来年度の事業計画等に盛り込むべき取組について

第4回 期 日 令和7年1月28日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

内 容 専門委員会の取組状況について
次年度の地域福祉推進委員会の取組について
福祉課題の調査について

(2)専門委員会

①地域福祉活動計画検証委員会

期 日 令和6年9月17日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 第5期活動計画最終年度の検証について
今後の進め方について

②地域福祉トータルケア推進事業検証委員会

第1回

期 日 令和6年8月21日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 地域福祉トータルケア推進事業の取組状況について
地域福祉推進に向けた今後の取組及び本事業のあり方について

第2回

期 日 令和6年12月5日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 地域福祉推進に向けた今後の取組の方向性について

第3回

期 日 令和7年3月6日(木)
会 場 アキタパークホテル(秋田市)
内 容 実施要綱改正に向けた流れについて
地域福祉推進に向けた取組の方向性のまとめ

③外国人等介護人材確保検討委員会

第1回 期 日 令和7年3月6日(木)
会 場 社会福祉法人成寿会(大館市)
参加者 10名
内 容 外国人介護人材受入れの現状について
介護老人保健施設成寿苑の視察
勤務する外国人介護職員との意見交換

第2回 期 日 令和7年3月27日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 6名
内 容 外国人介護人材の受入れについて

④福祉教育推進検討委員会

第4回 期 日 令和6年6月14日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 これまでの委員会の振り返りと目的の確認について
成果物のイメージの確認について

第5回 期 日 令和6年7月29日(月)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 秋田県版福祉教育の手引書(ガイドブック)(素案)の検討について

第6回 期 日 令和6年9月17日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 秋田県版福祉教育の手引書（ガイドブック）（案）の検討について

第7回 期 日 令和6年11月29日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 秋田県版福祉教育の手引書（ガイドブック）（最終案）の検討について

※第1回は令和4年度に、第2回、第3回は令和5年度に開催

⑤社会福祉施設災害ネットワーク会議

期 日 令和7年3月26日(水)
会 場 オンライン
参加者 3名
内 容 これまでの取組状況について
人材派遣・備蓄品調査について
災害時における各種別協の取組について

2 調査研究・政策提言活動の強化

地域福祉推進委員会で検討した政策要望書を県に提出するとともに、県健康福祉部及び教育庁幼保推進課と政策協議を行ったほか、県内各市町村長に対し、書面による要望を行った。

＜秋田県地域福祉行政懇談会＞

期 日 令和6年8月23日(金)
会 場 アキタパークホテル（秋田市）
内 容 要望1 災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の締結について（市町村社会福祉協議会連絡協議会）
要望2 障害児保育等における市町村格差の解消と少子化対策の基盤としての保育・教育施設の確保について（秋田県保育協議会）
協議1 災害時要援護者の支援対応と地域共生社会の実現について（秋田県民生児童委員協議会）
協議2 訪問介護事業におけるサービス提供の実態と本県における福祉・介護サービス提供体制の今後の展望について（秋田県社会福祉協議会・秋田県ホームヘルパー協議会）
協議3 認知症予防を重視したフレイル予防対策の推進について（秋田県社会福祉協議会）
協議4 今後の社会福祉法人経営への対応、持続可能性のあり方について（秋田県社会福祉協議会）

推進項目 4 県民啓発と情報発信

<事業項目 1 課題解決に向けた県民啓発の強化>

1 秋田県社会福祉大会

期 日 令和 6 年10月29日(火)

会 場 あきた芸術劇場「ミルハス」(秋田市)

参加者 505 名

内 容 秋田県知事表彰 116 名 4 団体

秋田県社会福祉協議会会長表彰 170 名 4 団体

実践発表 「“働く”を通じた居場所づくりから見えたこと」

NP0 法人あきた結いネット 理事長 坂下美渉 氏

記念講演 「“地域共生”を実現するために

～包括的な相談支援、継続的な参加支援を考える～」

講師 東京都立大学人文科学部 准教授 室田信一 氏

2 県民フォーラム【共同募金助成事業】

「高齢者とペットの福祉を考える県民フォーラム」

期 日 令和 7 年 3 月15日(土)

会 場 ANA クラウンプラザホテル秋田 (秋田市)

参加者 95 名

内 容 基調講演「高齢者と伴侶動物の福祉を考える～豊かな共生を目指して～」

講師 横浜国立大学 教育推進機構 准教授 安野舞子 氏

パネルディスカッション「高齢者とペットが共に幸せに生きられる地域づくりに向けて」

進行 横浜国立大学 教育推進機構 准教授 安野舞子 氏

パネリスト ケアプラン支援センターふきのとう 管理者 湊聖子 氏

パネリスト 秋田県動物愛護センター ワンニャピアあきた 所長 長谷川博之 氏

パネリスト 一般社団法人 飼い主サポート新潟 代表 三浦真美 氏

パネリスト 一般社団法人 飼い主サポート新潟 行政書士 秋山貴子 氏

3 情報提供機能の充実

(1)「社会福祉あきた」の発行

発行回数 5 回

発行部数 各 5,000 部 (377 号は 6,300 部)

(2)ホームページ、フェイスブックの更新

ニュース&トピックス 130 件、バナー広告 4 社

Facebook への記事掲載 64 件

(3)メールマガジンの配信

月 2 回配信 (対象 685 カ所)

《基本方針 2 住民参加による地域づくり》

推進項目 1 福祉教育による地域活動の育成支援

＜事業項目 1 福祉教育の推進＞

1 福祉教育推進事業の実施

(1) 福祉教育推進セミナーの開催

期 日 令和 7 年 3 月 4 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 22 名

内 容 実践報告「地域・学校・社協の協働による福祉教育の展開」

湯沢市社会福祉協議会 地域福祉課長 築瀬和子 氏

大潟村社会福祉協議会 事務局次長 池田昌弘 氏

グループワーク「福祉教育を主眼とした各学校、地域、団体での活動紹介や、
福祉教育を進めるうえでの課題の共有」

講義「福祉教育への期待

―「丸ごと」つながる取組による地域共生社会の実現のために―

講師 八戸学院大学健康医療学部 教授 吉田守実 氏

(2) 市町村における福祉教育事業への支援

災害ボランティア関係研修への講師派遣

ボランティアスクール（潟上市）

期 日 令和 7 年 3 月 24 日 (月)

会 場 潟上市立羽城中学校

内 容 「ボランティア活動について」

(3) 福祉教育推進検討委員会（再掲）

2 介護等体験調整事業

介護等体験参加者 151 名

申込学校数 8 校（県内 4 校、県外 4 校）

体験受入協力施設 43 施設

＜事業項目 2 地域におけるボランティア・市民活動の育成支援＞

1 地域福祉の推進に向けたボランティア活動や市民活動への支援

(1) あきた車いすリサイクリング

修理活動の参加高校（7 校）

能代科学技術高等学校、大館桂桜高等学校、男鹿工業高等学校、秋田工業高等学校

大曲工業高等学校、横手清陵学院高等学校、湯沢翔北高等学校

車いす贈呈先

タイ、スリランカ

調整等の窓口となっている公益財団法人日本社会福祉弘済会で保管中。

参 加 校	修理台数（修理中含む）
能代科学技術高等学校	2 台
大館桂桜高等学校	5 台
男鹿工業高等学校	2 台
秋田工業高等学校	3 台
大曲工業高等学校	6 台
横手清陵学院高等学校	2 台
湯沢翔北高等学校	2 台
計	22 台

(2) あきた車いすリサイクリング修理出張講習会

期 日 令和5年6月21日(金)

会 場 能代科学技術高等学校（能代市）

参加者 2 名

期 日 令和6年8月29日(木)

会 場 男鹿工業高等学校（男鹿市）

参加者 7 名

期 日 令和6年9月5日(木)

会 場 大曲工業高等学校（大仙市）

参加者 5 名

期 日 令和6年10月11日(金)

会 場 湯沢翔北高等学校（湯沢市）

参加者 5 名

期 日 令和6年11月1日(金)

会 場 秋田工業高等学校（秋田市）

参加者 4 名

期 日 令和6年12月7日(土)

会 場 横手清陵学院高等学校（横手市）

参加者 5 名

内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」

講師 みらい工房 管理者 早瀬尚文 氏

(3) 中学生高校生地域貢献活動助成

①助成校（8校）

仙北市立神代中学校

活動名 『『4つの柱』を中心としたボランティア活動』

（ゴミ拾い、アルミ缶回収、除雪）

能代市立能代東中学校

活動名「EAST 能代活性化プロジェクト」

(地域のガイド活動、ふるさとの特産品開発と販売)

鹿角市立十和田中学校

活動名「十和田魅力アッププロジェクト」

(大湯環状列石のガイド)

秋田県立六郷高等学校

活動名「ふくしをしらべよう～六郷高校で夏の自由研究をしませんか～」

(視覚障害への理解を深める地域学習)

秋田県立ゆり支援学校

活動名「地域の応援活動～みんな元気プロジェクト～」

(町内や公共施設の花壇への植栽、店舗のワックスがけ 等)

秋田県立比内支援学校たかのす校

活動名「除草・除雪ボランティア」

秋田県立聴覚支援学校

活動名「かがやきの丘祭りでの学校紹介動画放映」

(学校祭での学校紹介動画上映を通じた障害者理解の促進・啓発)

クラーク記念国際高等学校秋田キャンパス

活動名「大町・通町の絆作りプロジェクト」

(イベントを通じた住民との交流、店舗や高齢者宅の窓ふき、除雪)

②実践発表会

期 日 令和7年2月10日(月)

会 場 秋田県庁プレゼンテーションルーム

参加者 23 名

内 容 実践発表(助成校8校、車いすリサイクリング事業実施代表校1校による)

推進項目2 誰一人取り残さない地域社会づくり

<事業項目1 子どもの居場所づくりへの支援>

1 あきた子ども応援ネットワーク事業【共同募金助成事業】

(1) 支援団体連絡会議

第1回 期 日 令和6年4月23日(火)

会 場 オンライン

参加者 27 団体(33 名)、市町村社協4 名、県・市町村行政12 名

内 容 令和5 年度 of の取組とネットワークの効果、令和6 年度 of の取組案、全
県的なボランティア調整の仕組みについて

第2回 期 日 令和6年9月3日(火)

会 場 オンライン

参加者 31 団体(39 名)、市町村社協2 名、県・市町村行政9 名

内 容 情報交換会 of の実施、キッチンカー of の検討結果、LINEWORKS 変更、セブ

ンイレブンのフードドライブについて

第3回 期 日 令和7年2月6日(木)

会 場 オンライン

参加者 35 団体 (41 名)、市町村社協 6 名、県・市町村行政 13 名

内 容 令和 6 年度の取組状況、あきた子ども応援ネットワークの取組、令和 7 年度の取組案、情報交換、セブンイレブンのフードドライブについて

(2) 支援者情報交換会

期 日 令和6年7月2日(火) 秋田市会場

参加者 秋田市 秋田市行政、支援団体 7 体

期 日 令和6年7月9日(火) 大仙市会場

参加者 大仙市 支援団体 3 団体

仙北市 仙北市行政、支援団体 1 団体

美郷町 美郷町行政、支援団体 2 団体

期 日 令和6年7月10日(水) 潟上市会場

参加者 男鹿市 男鹿市行政、男鹿市社協、支援団体 1 団体

潟上市 潟上市行政、潟上市社協、支援団体 2 団体

五城目町 五城目町行政、五城目町社協、支援団体 1 団体

八郎潟町 八郎潟町社協

大潟村 大潟村行政

期 日 令和6年7月17日(水) 能代市会場

参加者 能代市 能代市行政、支援団体 4 団体

三種町 三種町行政、支援団体 3 団体

藤里町 藤里町社協

八峰町 支援団体 1 団体 (八峰町社協)

期 日 令和6年7月24日(水) 横手市会場

参加者 横手市 横手市行政、支援団体 3 団体

湯沢市 湯沢市行政、支援団体 2 団体

羽後町 羽後町行政

東成瀬村 東成瀬村社協

期 日 令和6年7月30日(火) 大館市会場

参加者 大館市 大館市行政、支援団体 3 団体

北秋田市 北秋田市社協、支援団体 2 団体

期 日 令和6年8月1日(木) 鹿角市会場
参加者 鹿角市 鹿角市行政、鹿角市社協、支援団体2団体
小坂町 小坂町行政、支援団体1団体(小坂町社協)

期 日 令和6年11月12日(火) 由利本荘市会場
参加者 由利本荘市 由利本荘市行政、由利本荘市2団体
にかほ市 にかほ市行政、にかほ市2団体(にかほ市社協含む)
内 容 地域の行政、社協も含めて団体等の取組状況と課題の共有、課題解決に向けた
取組について

(3)勉強会(子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座)の開催

期 日 令和7年3月4日(火)
会 場 八郎潟町えきまえ交流館はちパル(八郎潟町)
参加者 31名
内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」
おてら食堂 代表 寺崎美紀氏
あさひこども食堂 代表 坂上喜也氏

期 日 令和7年3月21日(金)
会 場 仙北市角館交流センター(仙北市)
参加者 19名
内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等(奉仕団としての関わり方)
について」
居場所づくりサポート「心結び」 代表 高橋美由紀氏
美郷町分区赤十字奉仕団 委員長 森元博美氏

(4)助言者の派遣

期 日 令和6年12月3日(火)
依頼者 仙北市内での活動希望者(子ども食堂 にこり♡としてあきた子ども応援ネット
ワークに掲載)
内 容 「運営のための財源、運営方法、規約等について」
助言者 居場所づくりサポート「心結び」 代表 高橋美由紀氏
期 日 令和6年12月5日(木)
依頼者 秋田市内での活動希望者
内 容 「居場所づくりのノウハウ、立ち上げ手順、周知方法、収支報告等について」
助言者 特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ
理事長 保坂ひろみ氏

2 子どもの居場所づくり等支援事業の実施

コーディネーター1名を配置し、子どもの居場所づくり等に取り組む団体等への支援及びあきた子ども応援ネットワークの充実・強化を図った。

(1) 支援団体への訪問・ヒアリング

訪問先 新規掲載団体（9 団体）、その他支援団体（1 団体：空き家活用団体）

内 容 取組状況・課題把握

(2) 企業等への訪問

訪問先 スーパー（4 ヲ所）、JA（13 ヲ所）他

内 容 子ども食堂等支援団体への協力依頼

(3) アンケート調査の実施

対 象 市町村行政（回答率 96%）

内 容 子ども食堂、食料支援、制服等リユース、学習支援等支援団体への協力
（調査結果は情報交換会で支援団体に提供）

(4) あきた子ども応援ネットワークの充実・強化

WEB サイトの充実及び県民・企業等からの寄附等に対する調整等を行った。

①Web サイト掲載の促進 新規掲載 9 団体（計 57 団体）

②寄附等の調整 77 件

③ボランティアの調整 39 件

④問い合わせ等対応 178 件

(5) 県補助金の申請に伴う相談支援

子ども食堂等を立ち上げようとする個人・団体に対する県補助金活用支援
申請団体 1 件

<事業項目 2 孤独・孤立支援>

1 地域の福祉力向上事業の実施（再掲）【共同募金助成事業】

<事業項目 3 ひとり親家庭や児童養護施設退所者の自立支援の促進>

1 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(1) 入学準備金

新規貸付決定件数 3 件

令和 6 年度貸付額 1,500,000 円

(2) 就職準備金

新規貸付決定件数 3 件

令和 6 年度貸付額 600,000 円

2 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

(1) 生活支援費

①過年度決定件数（継続） 4 件

令和 6 年度貸付額 2,400,000 円

②新規貸付決定件数 1 件

令和 6 年度貸付額 600,000 円

(2)家賃支援費

①過年度決定件数（継続） 5 件

令和 6 年度貸付額 2, 261, 160 円

②新規貸付決定件数 1 件

令和 6 年度貸付額 444, 000 円

(3)資格取得支援費

新規貸付決定件数 1 件

令和 6 年度貸付額 250, 000 円

＜事業項目 4 災害遺児愛護基金による児童の健やかな成長の支援＞

1 災害遺児愛護基金事業への寄附金の充実

(1)金銭寄附状況

件数 24 件 金額 1, 260, 308 円

(2)災害遺児の状況

令和 7 年 3 月 31 日現在災害遺児数 23 名(保護者数 14 名)

令和 6 年度に新たに対象となった災害遺児数 1 名(保護者数 1 名)

(3)給付金支給状況

見舞金 (1 名 100, 000 円を令和 7 年度に支給)

激励金 22 名 660, 000 円

卒業祝金 2 名 100, 000 円

入学祝金 3 名 150, 000 円

(4)災害遺児愛護基金事業運営委員会

期 日 令和 6 年 6 月 13 日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和 5 年度事業報告

寄附金・給付金等の状況について

事業の PR 活動の取組について

令和 5 年度決算及び令和 6 年度予算について

(5) 第 35 回福祉チャリティゴルフ大会

期 日 令和 6 年 10 月 2 日(水)

会 場 秋田太平山カントリークラブ

参加者 29 名

＜事業項目 5 高齢者の生きがい・健康づくりの推進＞

1 高齢者の健康づくり及び創作活動の支援

(1)第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会への選手派遣

期 日 令和 6 年 10 月 19 日(土)～22 日(火)

会 場 鳥取県内

参加者 81 名

種 目 スポーツ関連イベント：スポーツ交流大会 10 種目、ふれあいスポーツ交流大会 13 種目

生きがい関連イベント：6 種目

(2)いきいき長寿あきた 2024 ねんりんピック スポーツ親睦大会

期 日 令和 6 年 9 月 3 日(火)～令和 7 年 2 月 11 日(日)

会 場 大館樹海ドーム(大館市)、秋田市八橋運動公園周辺各競技場、秋田県営中央公園スカイドーム、中央シルバーエリア体育館(秋田市) 等

参加者 1,494 名 (19 種目開催)

種 目	期 日
グラウンドゴルフ(県北)	令和 6 年 9 月 3 日(火)
テニス	令和 6 年 9 月 12 日(木)
剣道	令和 6 年 9 月 14 日(土)
太極拳	令和 6 年 9 月 15 日(日)
剣道	令和 6 年 9 月 9 日(土)
ゲートボール	令和 6 年 9 月 20 日(金)
弓道	令和 6 年 9 月 21 日(土)
ソフトボール	令和 6 年 9 月 22 日(日) 中止
ペタンク	令和 6 年 9 月 25 日(水)
ソフトテニス	令和 6 年 9 月 27 日(金)
囲碁	令和 6 年 9 月 28 日(土)
将棋	令和 6 年 9 月 28 日(土)
グラウンドゴルフ(県南)	令和 6 年 10 月 8 日(火)
健康マージャン	令和 6 年 10 月 13 日(日)
パークゴルフ	令和 6 年 10 月 14 日(月)
健康マージャン	令和 6 年 10 月 22 日(日)
グラウンドゴルフ(中央)	令和 6 年 11 月 5 日(火)
ミニテニス	令和 6 年 11 月 20 日(水)
卓球	令和 6 年 12 月 7 日(土)
ソフトバレーボール	令和 7 年 2 月 9 日(日)
ダンススポーツ	令和 7 年 2 月 11 日(日)

(3)いきいき長寿あきた 2024 ねんりんピック 福祉・文化のつどい

期 日 令和 6 年 11 月 12 日(火)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 いきいき講演会、いきいき活動発表

いきいき講演会

演題「こころとからだのリフレッシュ」

有限会社シバタ 代表取締役 柴田 栄宜 氏

演題「音楽は人生の伴侶なり

～ちんどん屋への道。その後。～」

ダースコちんどん隊隊長 カチューシャ安田 氏

いきいき活動発表

民謡 八郎潟町民謡愛好会

手品 ミスター北さん

(4)いきいき長寿あきた 2024 ねんりんピック ねんりん美術展

期 日 令和6年11月12日(火)～15日(木)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 ねんりん美術展

出品者 75 名、観覧者 636 名

2 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報収集・提供

(1)仲間づくりの支援

ホームページや広報を通じて県内のサークル活動を紹介した。

(2)いきいきシニア生活誌「ロングライフ」の発行

発行回数 2 回 (No.147、No.148)

発行部数 各 3,000 部

(3)「元気にとしよる十ヶ条」の普及啓発

高齢者の健康や生きがいづくりの秘訣等となる「元気にとしよる十ヶ条」を、県民各層に対して啓発を図った。

3 高齢者が活躍する場づくり支援事業【高齢者未来づくり支援基金事業】

(1)高齢者が活躍する場づくり助成事業

①人材発掘・養成に係る活動 (0 件)

②地域の課題解決や地域の活性化に資する活動 (7 件)

芦崎地区 ひまわりサロン (三種町)

「芦崎地区 介護予防サロン」

ケイロウくらぶ (大館市)

「介護予防のための「心身フレイル予防」講座」

豊岡介護予防サロン (三種町)

「豊岡介護予防サロン」

東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会 (横手市)

「地域サロン等による「いきいき生活」支援事業」

館村サロン (三種町)

高齢者向けサロン活動の内容の充実をめざして

槻田・和み会 (三種町)

介護予防、孤立化予防のための地域サロン事業

合川樺細工の会 (北秋田市)

樺細工による高齢者のアクティビティ向上化事業

③フレイル予防のための活動 (3 件)

雄勝地域老人クラブ連合会（湯沢市）

湯沢市内老人クラブ地域間交流会～フレイル予防と健康づくり～

平和新町サロン（秋田市）

町内サロン活動

由利本荘市東由利連合婦人会（由利本荘市）

地域とともに げんき応援隊

(2) ニュースポーツ振興事業

① ニュースポーツ用具の貸出 63 件

スカットボール、ボッチャ、シャフルボード、ニチレクボール、スマイルボウリング、室内用ペタンクボール、カラーリング、ユニカー

② ニュースポーツインストラクターの派遣 13 件

(3) ロングライフ講座

会場・参加者

会 場	前期	後期	合計
秋田会場（秋田県社会福祉会館）	14 名	14 名	28 名
大館会場（大館市北地区コミセン）	9 名	14 名	23 名
能代会場（能代市文化会館）	23 名	5 名	28 名
潟上会場（かたりあん）	22 名	19 名	41 名
北秋田会場（北秋田市交流センター）	29 名	24 名	53 名
湯沢会場（湯沢生涯学習センター・湯沢勤労青少年ホーム）	22 名	15 名	37 名
横手会場（サンサン横手）	25 名	20 名	45 名
合 計	178 名	140 名	318 名

内 容 「e スポーツで生きている実感を支えたい」

eSocial Cue 株式会社 若狭利伸 氏

「笑顔で長生きを」

フリーアナウンサー 原田真裕美 氏

「笑いは健康の源」

落合鶴亀漫芸一座

「こころとからだのリフレッシュ」

健康運動指導士 柴田栄宜 氏

「笑顔で元気 健康寿命を延ばすためには」

介護予防健康アドバイザー 小山田聖子 氏

「ニュースポーツ体験」

e スポーツ

eSocial Cue 株式会社 若狭利伸 氏

スマイルボウリング・カラーリング

秋田県レクリエーション協会副理事長 菊地義寿 氏

＜事業項目 6 認知症高齢者への支援＞

1 フレイル予防推進検討委員会の実施

- 第1回 期 日 令和6年9月26日(木)
会 場 秋田キャッスルホテル
内 容 秋田県のフレイル（認知症）予防の現状について
認知症予防を重視したフレイル予防事業について
- 第2回 期 日 令和7年3月25日(火)
会 場 秋田キャッスルホテル
内 容 令和6年度事業報告について
令和7年度事業計画について

2 フレイル予防検証

(1) フレイル予防事業 参加者の募集

- 期 日 令和6年7月29日(月)
会 場 秋田県社会福祉会館 県民介護講座会場

(2) 検証参加者への説明会 3ヵ所

- 期 日 令和6年8月8日(木)・令和6年10月17日(木)
会 場 仙北市包括支援センター・桜見町内会館（仙北市）
期 日 令和6年8月23日(金)・令和6年10月11日(金)
会 場 あさひ町内会館（秋田市）

(3) 検証前の測定 3ヵ所

- 期 日 令和6年10月28日(月)
会 場 あさひ町内会館（秋田市）
参加者 13名
内 容 フレイル予防の講話
秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長・教授 大田秀隆 氏
認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明
- 期 日 令和6年10月31日(木)
会 場 桜見町内会館（仙北市）
参加者 8名
内 容 フレイル予防の講話
秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長・教授 大田秀隆 氏
認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明
- 期 日 令和6年11月25日(月)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 9名
内 容 フレイル予防の講話
秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長・教授 大田秀隆 氏

認知機能の測定・身体測定・e スポーツについて説明

(4) 検証の実施 11月～2月 (1ヵ所につき週1回3ヵ月間実施)

あさひ町内会館 11名 毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 計12回

桜見町内会館 9名 毎週木曜日(祝日の場合は翌日) 計12回

秋田県社会福祉会館 9名

12/3以降 毎週火曜日か水曜日(祝日の場合は翌日) 計12回

(5) 検証終了後の測定 3ヵ所

期 日 令和7年2月3日(月)

会 場 あさひ町内会館(秋田市)

参加者 11名

内 容 認知機能の測定・身体測定

期 日 令和7年2月6日(木)

会 場 桜見町内会館(仙北市)

参加者 8名

内 容 認知機能の測定・身体測定

期 日 令和7年2月27日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 9名

内 容 認知機能の測定・身体測定

(6) 修了式

期 日 令和7年2月17日(月)

会 場 あさひ町内会館(秋田市)

参加者 11名

内 容 修了証の授与・測定結果の配布

期 日 令和7年2月27日(木)

会 場 桜見町内会館(仙北市)

参加者 7名

内 容 修了証の授与・測定結果の配布

期 日 令和7年3月19日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 8名

内 容 修了証の授与・測定結果の配布

3 フレイル予防サポーター養成研修

期 日 令和7年1月31日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

修了者 17名

内 容 講義 地域活動における e スポーツを用いたフレイル予防とは
実技 e スポーツの実技と体験
講師 eSocial Cue 若狭利伸 氏

4 フレイル予防 体験会

e スポーツセミナー&体験会「楽しく始める e スポーツ」

期 日 令和7年3月11日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 124 名
内 容 講義 健康寿命延伸のカギを握る脳の体操
講師 秋田大学医学部 教授 大田秀隆 氏
対談 e スポーツとの3か月間
進行 eSocial Cue 若狭利伸 氏
体験 e スポーツ体験

推進項目3 多様な主体によるネットワークづくりの推進

<事業項目1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成>

1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修【共同募金助成事業】

(1) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（前期課程）

期 日 令和6年6月6日(木)～7日(金)
会 場 秋田市民交流プラザ（秋田市）
参加者 22 名
内 容 講義 1「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティ
ソーシャルワーク」
演習 1「事例報告」
演習 2-1「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」
演習 2-2「コミュニティソーシャルワークの視点による問題解決方針の立案
と援助システムづくり」
演習 3「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」
講義 2「ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性」
演習 4「コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発」
講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本社会事業大学名誉教授
大橋謙策 氏

(2) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（後期課程）

期 日 令和6年9月10日(火)～12日(木)
会 場 秋田市民交流プラザ（秋田市）
参加者 21 名
内 容 演習 3「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」

演習 4「コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発」

演習 5「日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポート
ネットワークの形成」

講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本社会事業大学名誉教授
大橋謙策 氏

2 コミュニティソーシャルワーク実践者の交流促進

「第 6 回地域共生社会推進全国サミット in いこま」への参加

期 日 令和 6 年 10 月 11 日 (金)～12 日 (土)

会 場 たけまるホール他 (奈良県)

参加者 1 名 (地域福祉担当)

3 コミュニティソーシャルワーク実践研究会への支援

(1) 総会の開催

期 日 令和 6 年 11 月 15 日 (金)

会 場 秋田テルサ (秋田市)

参加者 20 名 (委任状 16 名)

(2) 監事会の開催

期 日 令和 6 年 6 月 25 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館

(3) 運営幹事会の開催

第 1 回 期 日 令和 6 年 6 月 25 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館

第 2 回 期 日 令和 6 年 11 月 7 日 (木)

会 場 オンライン

(4) 全体研修の開催

期 日 令和 6 年 11 月 15 日 (金)

会 場 秋田テルサ (秋田市)

参加者 22 名

内 容 講話・グループワーク「対人援助職のバーンアウトの予防について」

講 師 鹿児島大学医学部保健学科 助教 西本大策 氏

<事業項目 2 ネットワーク支援体制づくり>

1 ネットワーク活動の連携推進モデル事業の実施 (再掲)【共同募金助成事業】

2 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修 (再掲)【共同募金助成事業】

推進項目 4 地域における公益活動の推進

<事業項目 1 地域と社会福祉法人・施設との協働事業の推進>

1 地域と社会福祉法人・施設との協働事業の推進

地域福祉担当情報交換会の実施（第2回オンライン情報交換会）（再掲）

日 時 令和6年8月22日（木）

参加者 市町村社会福祉協議会地域福祉担当者

内 容 社協と社会福祉法人との連携・協働による取組について
市町村社協間の連携・協働による取組について

推進項目 5 危機管理体制づくりの推進

<事業項目 1 災害福祉支援機能の構築>

1 災害福祉支援機能に関する調査研究を行う協議会の開催

(1) 秋田県災害福祉支援センター（仮称）検討委員会

第1回委員会

期 日 令和6年7月12日（金）

会 場 参集、オンラインの併用

参加者 9名

内 容 委員長の選出について
災害福祉支援センターの意義と全国的な設置状況等について
DWATについて
災害時施設間応援コーディネート事業について

第2回委員会

期 日 令和6年8月7日（水）

会 場 参集、オンラインの併用

参加者 10名（オブザーバー1名含む）

内 容 第1回委員会の振り返りについて
災害ボランティアセンターについて
災害ケースマネジメント（支え合いセンター）について

第3回委員会

期 日 令和6年9月11日（水）

会 場 参集、オンラインの併用

参加者 10名（オブザーバー1名含む）

内 容 第2回委員会の振り返りについて
BCP支援等について
他県の災害福祉支援センターの概要について
秋田県災害福祉支援センター（仮称）の保有する機能等（案）について

第4回委員会

期 日 令和6年9月25日（水）

会 場 参集、オンラインの併用

参加者 10 名（オブザーバー1 名含む）

内 容 第3 回委員会の振り返りについて

秋田県災害福祉支援センター（仮称）検討委員会検討報告書（案）について

＜事業項目2 災害ボランティアの支援＞

1 市町村社協における災害支援体制の構築

(1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアル策定及び見直しに向けた支援

災害ボランティア研修を通して、市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定や見直しを働きかけることにより、災害支援体制構築の支援を行った。

2 災害ボランティアセンターの担い支える人材の確保と養成

(1) 災害ボランティアコーディネーター養成研修（基礎編・応用編）

〔基礎編〕

期 日 令和6 年10 月2 日(水)～3 日(木)

会 場 秋田パークホテル

参加者 49 名

内 容 講義・演習「災害支援の全体像と基礎理解」

「被災者ニーズと地域」

「ニーズキャッチとアセスメント」

「災害時のコーディネーション」

「災害時の活動拠点（災害ボランティアセンター）」

「様々なケースへの対応（事例検討）」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李仁鉄 氏

〔応用編〕

期 日 令和6 年12 月10 日(火)～11 日(水)

会 場 秋田拠点センター ALVE

参加者 44 名（認定者：43 名）

内 容 講義・演習「災害時の支援拠点の設置」

「災害ボランティアセンター設置訓練」

「災害ボランティアセンター運営訓練」

「運営支援者としての姿勢とスキル」

「復興・平常時の取組と福祉防災学習」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李仁鉄 氏

(2) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

期 日 令和7年2月3日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 65 名

内 容 パネルディスカッション「令和5年及び6年の水害を振り返る」

発表者 秋田市社会福祉協議会 地域福祉課課長補佐(兼)

秋田市地域支え合センターリーダー 戸島健人 氏

由利本荘市社会福祉協議会 地域福祉事業課長 茂木晋 氏

にかほ市社会福祉協議会 地域福祉課課長 齋藤正志 氏

上小阿仁村社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 菅沼和也 氏

五城目町社会福祉協議会 総務係係長 北嶋由宏 氏

グループワーク「大規模災害発生時の対応について」

講義・総括「災害ボランティアセンターを通じた被災者支援と協働連携の重要性」

講師 Office SONOZAKI 代表 園崎秀治 氏

(3) 災害ボランティア活動実践研修会

期 日 令和6年10月5日(土)

会 場 大館市北地区コミュニティセンター(大館市)

参加者 23 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

期 日 令和6年12月12日(木)

会 場 小坂町交流センター セパーム(小坂町)

参加者 50 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

期 日 令和6年12月13日(金)

会 場 能代市文化会館(能代市)

参加者 50 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

(4) 災害ボランティア活動実地訓練

期 日 令和6年10月4日(金)

会 場 上小阿仁村生涯学習センター（上小阿仁村）

参加者 32 名

内 容 講義・演習「災害ボランティアセンターの仕組みや役割について」
「地域の様々な担い手の参加と協力について」
「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

(5) 災害ボランティア関係研修への講師等派遣

①ボランティア研修（潟上市）

期 日 令和7年3月5日(水)

会 場 潟上市市民センターかたりあん（潟上市）

内 容 「災害時のボランティア活動について」

②災害ボランティアセンターICT 導入による研修会

期 日 令和7年3月11日(火)

会 場 秋田市役所旧研修棟

内 容「災害ボランティアセンターの ICT 化がもたらす効果」（パネルディスカッション）

③ボランティアスクール（潟上市）〔再掲〕

期 日 令和7年3月24日(月)

会 場 潟上市立羽城中学校（潟上市）

内 容 「ボランティア活動について」

＜事業項目3 災害福祉広域支援体制の整備＞

1 災害福祉広域支援体制整備事業の実施

(1) 秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修

期 日 令和6年6月14日(金)～15日(土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 15 名

登録者 14 名

内 容 講義Ⅰ「福祉支援活動の必要性」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅱ「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」

講師 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主事 菅生風雅 氏

講義Ⅲ「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアルの理解」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅳ「活動マニュアルの留意点」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅴ「様式集について」

講師 男鹿偕生会 佐藤哲彦 氏

講義Ⅴ「チーム活動の実際」

講師 秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏
特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 副施設長 田口由貴子 氏

演習ⅠⅡ「活動シミュレーションⅠⅡ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏
ファシリテーター

社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏
特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 副施設長 田口由貴子 氏

大館市養護老人ホーム成章園 介護福祉士 片山貴博 氏

(2) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅰ

期 日 令和6年10月17日(木)～19日(土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 13 名

内 容 講義Ⅰ「近年の動向」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅱ「活動マニュアルの理解」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅲ「福祉支援対象者の理解」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅳ「災害時の保健師の役割と活動」

講師 平鹿地域振興局福祉環境部健康・予防課 保健師 吉野泰子 氏

講義Ⅴ「避難所等での各種団体との連携の在り方」

講師 盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

講義Ⅵ「活動記録の方法と点検及びスクリーニング方法」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

演習Ⅰ～Ⅳ「活動シミュレーションⅠ～Ⅳ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏
ファシリテーター

盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙 管理者 石川晴久 氏
新屋地域包括支援センターエンデバー

主任介護支援専門員 佐藤友紀 氏

救護施設玉葉荘 介護福祉士 松岡龍也 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 副施設長 田口由貴子 氏
横手市社会福祉協議会 地域福祉課 主任 塩田一紀 氏
特別養護老人ホーム広洋苑 介護福祉士 阿部美和子 氏

(3) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅱ

期 日 令和7年1月23日(木)～25日(土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 28 名

内 容 講義Ⅰ「近年の DWAT 活動について」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

演習Ⅰ～Ⅵ「活動シミュレーションⅠ～Ⅵ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

ファシリテーター

成寿苑指定通所リハビリテーション事業所 部長 斉藤隆広 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙 管理者 石川晴久 氏

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 副施設長 田口由貴子 氏

横手市社会福祉協議会 地域福祉課 主任 塩田一紀 氏

(4) 秋田県災害派遣福祉チーム活動訓練

期 日 令和6年9月1日(日)

会 場 三種町八竜体育館

参加者 特別養護老人ホームひだまり苑 介護支援専門員 西山まゆみ 氏

特別養護老人ホーム希望苑 介護福祉士 北林瑞恵 氏

松波苑居宅介護支援事業所 介護支援専門員兼生活相談員 中村貴子 氏

障害者支援施設秋田ワークセンター 生活支援課主任 佐藤大志 氏

期 日 令和7年2月9日(日)

会 場 北秋田市森吉総合スポーツセンター

参加者 成寿苑指定通所リハビリテーション事業所 部長 斉藤隆広 氏

大館市養護老人ホーム成章園 介護福祉士 片山貴博 氏

北秋田市障がい児・者地域生活支援拠点「あいライン」

管理者 工藤輝満 氏

ケアプラザかんきょう大館 主任介護支援専門員 伊藤恵子 氏

二ツ井地域包括支援センター 介護福祉士 佐々木道 氏

2 災害時の広域支援ネットワーク会議

(1) 社会福祉施設災害ネットワーク会議（再掲）

(2) 災害福祉広域支援ネットワーク会議

期 日 令和7年3月26日(水)
会 場 オンライン
参加者 9名
内 容 災害時における福祉支援活動の現状について
災害福祉支援センター検討委員会の報告
令和6年度災害派遣福祉チームの養成研修並びに養成状況について

《基本方針 3 福祉サービスの基盤づくり》

推進項目 1 福祉人材の確保・育成・定着の推進

<事業項目 1 福祉人材のマッチングの促進>

1 求人・求職開拓の推進

(1) 福祉人材キャリア支援専門員による事業所訪問の推進

事業所訪問数	605 カ所
関係機関訪問数	522 カ所
計	1,127 カ所

(2) 福祉人材キャリア支援専門員による求職者の開拓

介護のお仕事セミナー	132 回
再就職支援セミナー	12 回
計	144 カ所

(3) 福祉人材情報システム（COOL システム）への登録促進

新規求人事業所数	611 カ所
有効求人事業所数	1,567 カ所

2 無料職業紹介機能の強化

(1) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

区 分	実 績	対前年増減	月平均
新規求人数（名）	1,990	△563	166
有効求人数（A）（名）	5,933	△1,628	494
新規求人事業所数（カ所）	611	△147	51
有効求人事業所数（カ所）	1,567	△225	131
応募・紹介数（名）	89	△10	7
採用人数（名）	69	6	6
新規求職者数（名）	409	89	34
有効求職者数（B）（名）	1,086	218	91
有効求人倍率（A/B）（倍）	5.46	—	—

(2) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

求人相談	4,148 件	月平均 346 件
求職相談	3,682 件	月平均 307 件

(3) 福祉人材キャリア支援専門員による出張相談状況

ハローワークプラザアトリオン	12 回
Workin みんなのお仕事相談会	3 回
求職者との個別面談等	214 回
計	229 回

(4) 関係機関主催事業における求職相談・求人及び求職登録の勧奨

①県主催事業

(秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課)

令和6年6月4日(火) 「秋田県合同就職面接会」

令和6年12月26日(木) 「秋田県業界研究会」

令和7年3月12日(水)～13日(木) 「秋田県合同就職説明会」

②秋田県ふるさと定住機構主催事業

令和6年6月30日(日) 「第1回あきた就職フェア in 東京」

令和6年8月12日(月) 「第2回あきた就職フェア in 秋田」

令和6年10月27日(日) 「第3回あきた就職フェア in 東京」

令和7年2月9日(日) 「第5回あきた就職フェア in 東京」

③介護労働安定センター秋田支部

令和6年10月9日(水) 「令和6年度介護労働講習」

④ハローワーク主催事業

令和6年10月29日(火) 「介護就職デイ」

令和6年11月12日(火) 「由利地域合同企業説明会」

令和6年11月15日(金) 「プチ介護デイ 介護セミナー」

令和6年11月21日(木) 「プチ介護デイ 就職支援セミナー」

(5) 秋田県福祉人材センターWebサイトの開設

人材センターの周知及び求職者と求人事業所向けの情報発信を行うとともに、福祉の仕事を探している求職者と人材を求めている事業所のマッチングを図ることを目的として、Webサイトを開設し、運用管理を行った。

(6) 関係機関との情報交換、事業協力関係の強化

県や労働局が開催する福祉人材の確保推進に向けた協議会への参画により、各機関が推進する事業に関する情報共有や連携強化に努めた。

<主な連携・参画の状況>

①県主催事業

(秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課)

令和6年9月27日(金) 秋田県福祉人材確保推進協議会

(秋田県健康福祉部長寿社会課)

令和6年6月25日(火) 秋田県介護サービス事業所認証評価制度 制度説明会

令和6年8月7日(水) 第1回秋田県介護業務「カイゼン」推進会議

令和7年2月26日(水) 第2回秋田県介護業務「カイゼン」推進会議

②介護労働安定センター主催事業

令和6年11月26日(火) 秋田介護労働懇談会・秋田県中央地域介護労働懇談会

③秋田労働局主催事業

令和6年6月21日(金) 人材確保対策連絡協議会(医療・福祉分野)

令和6年11月13日(水) 秋田県介護施設+Safe協議会

④ハローワークとの連携・協力

福祉求人データの情報共有 24 回

3 ふくしのしごと総合フェアの開催

第1回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日 令和6年8月31日(土)
会 場 ホテルメトロポリタン秋田 (秋田市)
参加者 46 名 (一般 44 名、学生 2 名)
法人数 30 法人
求人数 165 名
採用数 6 名
内 容 ・求人事業所との個別面談
・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター
・福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター
・来場者特典の配布

第2回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日 令和7年3月1日(土)
会 場 ホテルメトロポリタン秋田 (秋田市)
参加者 51 名 (一般 44 名、学生 7 名)
法人数 30 法人
求人数 194 名
採用数 一名
内 容 ・求人事業所との個別面談
・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター
・福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター
・来場者特典の配布

<事業項目2 福祉人材の確保・定着支援対策>

1 介護の入門的研修事業の実施

(1)介護入門セミナー

①県南地区

<1日コース>

期 日 令和6年6月19日(水)
会 場 横手市ふれあいセンターかまくら館 (横手市)
受講者 7 名

<4日コース>

期 日 令和6年6月19日(水)～20日(木)、25日(火)～26日(水)
会 場 横手市ふれあいセンターかまくら館 (横手市)

受講者 25 名

②県北地区

<1 日コース>

期 日 令和6年7月18日(木)

会 場 大館市北地区コミュニティーセンター（別館）（大館市）

受講者 1 名

<4 日コース>

期 日 令和6年7月18日(木)～19日(金)、25日(木)～26日(金)

会 場 大館市北地区コミュニティーセンター（別館）（大館市）

受講者 15 名

③県央地区第1回

<1 日コース>

期 日 令和6年9月3日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 1 名

<4 日コース>

期 日 令和6年9月3日(火)～4日(水)、11日(水)～12日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 14 名

④県央地区第2回

<1 日コース>

期 日 令和6年11月12日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 5 名

<4 日コース>

期 日 令和6年11月12日(火)～13日(水)、20日(水)～21日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 23 名

内 容 (共通)

講義「介護に関する基礎知識」「介護の基本」「基本的な介護の方法」

講師 有限会社チョウセイ 介護の店こもれば 管理者 佐々木誠宏 氏

講義「認知症の理解」「介護における安全確保」

講師 Akita Care Design Laboratory けあデザインラボ 綿貫哲 氏

講義「障害の理解」

講師 秋田県聴覚障害者支援センター 所長 加藤敦 氏

説明「職場体験等について」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

2 無資格・未経験者の就労支援（ハートフル雇用）の実施

- (1) ハートフル雇用申込者 4 名
ハートフル雇用就労者 1 名（継続雇用）
ハートフル雇用辞退 3 名

3 専門アドバイザー派遣事業の実施

社会保険労務士等の専門アドバイザーを介護保険施設等に派遣し、給与体系やキャリアパス体系の整備等の雇用管理改善について、相談・助言を行った。

〔派遣状況〕

社会保険労務士	2 回
計	2 回

4 理学療法士派遣事業の実施

理学療法士を派遣し、身体的負担の少ない介護方法や腰痛予防対策の指導を行った。

〔派遣状況〕

派遣回数（回）	12 回
参加事業所数（カ所）	12 カ所

5 介護人材確保対策研修事業の実施

(1) エルダー・メンター養成研修

①期 日 令和 6 年 8 月 21 日（水）

参加者 34 名

②期 日 令和 7 年 2 月 4 日（火）

参加者 52 名

内 容（共通）講義・ペアワーク

「エルダー・メンター制度が機能する社風作り」

「エルダー・メンター制度はこうすれば機能する」

講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

(2) 新人介護従事者定着支援研修

①期 日 令和 6 年 9 月 20 日（金）

参加者 16 名

②期 日 令和 6 年 12 月 2 日（月）

参加者 26 名

内 容（共通）講義・ペアワーク

「介護職の魅力とキャリアアップ」

講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

(3) 福祉・介護事業所採用力アップセミナー

期 日 令和 7 年 2 月 20 日（木）

参加者 15 名

内 容 講義・ワークショップ

「介護職の魅力ある伝え方・採用ターゲットに合わせた介護職求人の作り」

講師 株式会社マイナビ メディカル事業本部

福祉介護メディア推進部 部長 川上順也 氏

企画推進課 課長 菅野亮 氏

(4) 介護助手活用促進セミナー

期 日 令和6年10月17日(木)

参加者 6名

内 容 講義「介護現場における介護助手の効果と必要性」

講師 介護老人保健施設いこいの森 副施設長 東良太 氏

6 秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会の開催

期 日 令和7年2月7日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

議 題 人材確保関連事業の実施状況について

研修事業の実施状況について

令和7年度に向けた事業実施計画案について

<事業項目3 福祉の仕事への理解促進>

1 中学生の福祉の仕事セミナー事業の実施

<秋田市立桜中学校>

期 日 令和6年6月25日(火)

参加者 2年生 145名、教職員 5名

内 容 講義①「福祉の仕事セミナー～福祉の仕事はどんな仕事～」(介護分野)

講義②「福祉の仕事セミナー～保育士の仕事について～」(保育分野)

講 師 特別養護老人ホーム大平荘 課長心得 船木竜介 氏

特別養護老人ホーム大平荘 社会福祉士 高橋香澄 氏

特別養護老人ホーム大平荘 介護福祉士 佐藤稀星 氏

ナーサリー土崎 保育士 関優太 氏

<由利本荘市内中学校> ※中学生と管内企業ふれあいPR事業に参加

期 日 令和6年7月18日(木)

参加者 2年生 500名程度

内 容 ①生徒が各企業・法人等のブースを訪問し、仕事内容などの説明を受けるとともに、質疑応答を行った。

②1回あたりの訪問時間を15分とし、小グループであらかじめ指定されたブースを訪問する時間を3回、個人で希望するブースを訪問する時間を2回設け、順にブースを訪問した。

2 高校生の福祉の職場体験事業の実施

(1) 体験者数 (単位：名)

高校生	9
-----	---

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：箇所)

乳児院	2
放課後等デイサービス	2
就労継続支援 B 型	2
障害者支援施設	4
計	10

※複数施設体験者あり

3 介護の職場体験事業の実施

(1) 体験者数 (単位：名)

中学生	3
高校生	48
学生（中学・高校生以外）	1
一般	19
合計	71

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：箇所)

特別養護老人ホーム	17
介護老人保健施設	3
ショートステイ	13
デイサービス	15
グループホーム	8
小規模多機能	2
訪問介護	4
サ高住	4
有料老人ホーム	3
ケアハウス	2
計	71

(3) ポスター・チラシの作成及び配布

①事業の PR と参加促進のためのチラシやポスター、Instagram掲載用データを作成
チラシ 7,500 部、ポスター 300 部

②関係機関への配布

県・市町村教育委員会、中学校・高等学校・短期大学・大学、専門学校、介護福祉士実務者研修実施事業者、ハローワーク、公共施設等

(4) 小冊子の配布

介護の仕事と魅力を紹介する小冊子「介護の仕事ハンドブック」を 8,000 部作成し、県内高等学校の 1 年生や、介護入門セミナー参加者、人材センター来所者、ハローワーク出張相談利用者等へ配布した。

<事業項目 4 福祉保健従事者研修の充実>

1 福祉保健従事者研修の実施 《別表 1 参照》

(1)行政職員研修 4 コース(4 回) (うち 1 回は職域別研修と合同実施)

(2)段階別研修 11 コース(19 回)

①新任研修 1 コース(3 回)

②中堅研修 1 コース(3 回)

③指導的従事者研修 1 コース(4 回)

④管理者研修 1 コース(2 回)

⑤職域別研修 7 コース(7 回)

(3)特別研修 2 コース(2 回)

2 認知症介護関係研修の実施

(1)認知症介護研修 5 コース(7 回) 《別表 2 参照》

(2)認知症介護研修カリキュラム検討委員会

第 1 回 令和 6 年10月 8 日 出席者25名

第 2 回 令和 7 年 2 月14日 出席者21名

3 自主企画研修の実施 《別表 2 参照》

(1)従事者向け研修 17 コース(21 回)

4 介護施設等看護実務者研修事業の実施

第 1 回 期 日 令和 6 年10月16日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 35 名 (集合)

内 容 講義「介護保険制度と看護職員の役割①」

「介護保険制度と看護職員の役割②」

「介護保険施設等における看護職員の役割」

講 師 社会福祉法人 いずみ会 特別養護老人ホーム リンデンバウムいずみ
施設長 豊嶋 直美 氏

第 2 回 期 日 令和 6 年11月 6 日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 36 名 (集合)

内 容 講義「高齢者の心身の理解」

「認知症高齢者の理解と看護」

「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護①」

講 師 社会福祉法人愛染会 介護老人保健施設 あいぜん苑
ケア統括部長 認知症看護認定看護師 安田智代 氏

第 3 回 期 日 令和 6 年12月 3 日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 34 名

内 容 講義「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護②」
「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護③」
「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護④」
講 師 社会福祉法人 一真会 訪問看護ステーション花むつみ
管理者 小松 祐子 氏

5 訪問介護員の人材養成における基本研修事業の実施

(1) 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

第1回 期 日 令和6年11月12日(火)～13日(水)

会 場 秋田テルサ(秋田市)

参加者 集合 21名

内 容 12日 講義・演習「いつまでも“口から食べる楽しみ”を支えよう
～食べるメカニズム、摂食嚥下障害、多職種連携～」
13日 調理実習 「暮らしの中で“食べる”を支えるケア～美味しく食べ
やすい食事と栄養ケア～」(実技)

講 師 12日 市立秋田総合病院 湊 洋太 氏 言語聴覚士 齋藤恵美 氏

13日 社会福祉法人 若美さくら会 特別養護老人ホーム 和幸苑

管理栄養士 石井菜緒 氏

医療法人社団静実会 ないとうクリニック

在宅訪問管理栄養士 介護食アドバイザー 伊藤清世 氏

第2回 期 日 令和6年12月17日(火)～18日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 集合 16名

内 容 17日 講義・演習「いつまでも“口から食べる楽しみ”を支えよう～食べ
るメカニズム、摂食嚥下障害、多職種連携～」
18日 調理実習 「暮らしの中で“食べる”を支えるケア～美味しく食べ
やすい食事と栄養ケア～」(実技)

講 師 17日 独立行政法人労働者健康安全機構 秋田労災病院

言語聴覚士 佐藤かな子 氏

18日 社会福祉法人 若美さくら会 特別養護老人ホーム 和幸苑

管理栄養士 石井菜緒 氏

医療法人社団静実会 ないとうクリニック

在宅訪問管理栄養士 介護食アドバイザー 伊藤清世 氏

(2) サービス提供責任者初任者研修

期 間 令和6年10月23日(水)、24日(木)、11月7日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 集合 105名

内 容 講義1「訪問介護の意義とサービス提供責任者の責務」

「訪問介護サービス提供プロセスの理解」

「多職種連携におけるサービス提供責任者に必要な視点とスキル」

「スーパービジョン」

「令和6年度改正法改正の具体的な変更内容の取扱い方法」

日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因利恵 氏

講義2「アセスメントの視点」「ICFを訪問介護計画書に活かす」

「訪問介護計画書の作り方」

「訪問介護計画書の演習・作成」

合同会社秋田まちとケア協働舎 代表

主任介護支援専門員 鈴木のぞみ 氏

講義3「サービス提供責任者に必要な医療に関する知識と介護・医療との連携」

「認知症の人の理解とケア」

「利用者とヘルパーのためのリスクマネジメント、緊急時対応及び苦情対応について」

「義務化となった介護保険事業所が行う自然災害発生時や感染症対策シミュレーション（BCP）」

由利本荘医師会立 由利本荘看護学校

訪問看護認定看護師 堀尾朗子 氏

<事業項目5 介護支援専門員の資格取得の推進>

1 介護支援専門員養成事業の実施

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

期 日 令和6年10月13日(日)

会 場 ノースアジア大学(秋田市)

受験申込者 574名

受験者 512名

合格者 138名(合格率27.0%)

(2) 介護支援専門員実務研修

〈前期研修〉

期 日 令和6年12月18日(水)～20日(金)、24日(火)～25日(水)、
令和7年1月8日(水)～10日(金)、14日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

受講者 133名

〈後期研修〉

期 日 令和7年2月25日(火)～26日(水)、3月10日(月)～13日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

3月13日(木)のみ秋田県社会福祉会館に全員参集

受講者 133名 修了者 133名

<事業項目6 たん吸引等特定行為者の育成>

1 介護職員等によるたんの吸引等研修事業の実施

(1) 喀痰吸引等指導者養成

① 第一号及び第二号研修（不特定多数の者対象）

期 日 令和6年5月29日（水）～30日（木）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）

受講者 28名

② 第三号研修（特定の者対象）

期 日 令和6年5月22日（水）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）

受講者 12名

(2) 介護職員等によるたん吸引等研修（不特定多数の者対象）の実施

① 基本研修（講義・筆記試験）

基本研修（講義）	筆記試験	講義・試験会場	実地研修
6月18日（火）～ 7月9日（火） （8日間） 50時間の講義＋救急蘇 生法演習 34名受講	7月10日（水） 34名受験 33名合格 再試験 7月23日（火） 1名受験 1名合格	秋田県中央地区 老人福祉総合エ リア 秋田県社会福祉 会館	各実地研修施設に おいて実施 修了者3名

② 基本研修（演習）

基本研修（演習）	会場
① 8月21日（水）～23日（金） 8月28日（水）～29日（木） ② 9月4日（水）～5日（木） 9月11日（水）～13日（金） ③ 10月2日（水）～4日（金） 10月9日（水）～10日（木） 5行為5日間の演習 34名受講、34名合格	秋田県中央地区老人福祉総合エリア

(3) 介護職員等によるたん吸引等研修（特定の者対象）の開催

① 基本研修

期 日 令和6年7月30日（火）～31日（水）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 11名

② 筆記試験

期 日 令和6年7月31日（水）※再試験：令和6年8月8日（木）

受講者 11名、合格者 11名

③ 実地研修

実地研修協力者（利用者）の所在する場所（居宅及び施設等）で指導看護師の指導のもと、実施した。

(4) 手技確認講習の実施

①一部履修免除者に対する手技確認講習の開催

受講者 63 名、合格者 53 名（合格率 84%）

開催日	受講者	合格者	不合格者
令和 6 年 6 月 5 日（水）	2 名	1 名	1 名
令和 6 年 7 月 18 日（木）～19 日（金）	17 名	13 名	4 名
令和 6 年 9 月 19 日（木）～20 日（金）	19 名	15 名	4 名
令和 6 年 11 月 20 日（水）～21 日（木）	18 名	17 名	1 名
令和 7 年 1 月 22 日（水）～23 日（木）	7 名	7 名	0 名

②認定証取得済介護職員等に対するフォローアップ研修の開催

開催日	受講者
令和 6 年 10 月 23 日（水）	3 名

(5) 実地研修事業の実施（不特定の者対象）

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

演習修了者の実地研修に際し、保険加入手続きを行ったほか、必要に応じ実地研修未修了者の保険再加入手続きを行った（122 名）。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として 75 施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、指導看護師との連絡調整、研修に関する相談支援を行った。

③実地研修修了者に対する修了証明書の交付（手技確認講習受講者含む）

〔交付実績〕

（単位：名）

	H24 ～29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	合計
一・二 号	3	3	5	2	14	12	41	9	89

※令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月末までに交付した修了証明書発行延人数

(6) 実地研修事業の実施（特定の者対象）

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

基本研修修了者の保険加入手続きを行ったほか、特定の者（受講者 41 名：利用者 44 名）の保険加入・更新手続きを行った。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として 3 施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、研修に関する相談支援を必要に応じて行った。

③実地研修修了者に対する修了証明書の交付

〔交付実績〕

三号	全課程	7 名	33 名
	実地研修のみ	26 名	

※令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月末までに交付した修了証明書発行延人数

(7) 研修実施委員会の設置及び委員会の開催

①研修実施委員会の開催

期 日 令和 7 年 2 月 14 日（金）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和 6 年度進捗状況について

令和 7 年度研修計画について

②試験判定部会の開催

期 日 令和 6 年 4 月 19 日 (金)
 令和 6 年 6 月 11 日 (火)
 令和 6 年 8 月 2 日 (金)
 令和 6 年 9 月 26 日 (木)
 令和 6 年 11 月 29 日 (金)
 令和 7 年 7 月 31 日 (金)
 令和 7 年 3 月 7 日 (金)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 演習 (手技確認講習) の結果判定
 実地研修の修了判定等
 講義、演習等の内容検討

(8) 登録・管理業務

①登録特定行為事業者登録申請	13施設
②登録喀痰吸引等事業者申請	1施設
③登録特定行為事業者登録更新申請	13施設
④認定特定行為業務従事者認定証申請	181名
⑤原本証明願申請	9名
⑥認定特定行為業務従事者認定証変更申請	8名
⑦認定特定行為業務従事者認定証再交付申請	7名
⑧喀痰吸引等研修における実地研修施設登録 (変更) 届出	12施設
⑨要録喀痰吸引等事業者 (登録特定行為事業者) 変更登録	随時

<事業項目 7 福祉系資格取得者への経済的支援>

1 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金通常貸付

①平成 30 年度～令和 5 年度貸付決定件数	131 件
令和 6 年度貸付額	22,760 千円
②令和 6 年度新規貸付決定件数	4 件
令和 6 年度貸付決定総額	6,460 千円
令和 6 年度貸付額	3,100 千円

(2) 介護福祉士修学資金早期貸付 (入学前に入学準備金を貸付)

①令和 7 年度入学者新規貸付決定件数	13 件
令和 6 年度貸付決定総額	22,480 千円
令和 6 年度貸付額	2,600 千円 (入学準備金)

(3) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

貸付決定件数	73 件
貸付決定総額	13,649 千円
貸付額	13,449 千円
※決定後辞退	1 件 (200 千円)

(4) 離職介護人材再就職準備金貸付事業

貸付決定件数	8 件
--------	-----

貸付決定総額	3,200 千円
貸付額	3,200 千円
(5) 障害福祉分野就職支援金貸付事業	
新規貸付決定分	1 件
貸付決定総額	200 千円
貸付額	200 千円

2 福祉系高校修学資金等貸付事業の実施

(1) 福祉系高校修学資金貸付事業	
①過年度決定件数（継続）	3 件
令和 6 年度貸付額	510 千円
②令和 6 年度新規貸付決定件数	0 件
令和 6 年度貸付決定総額	0 千円
令和 6 年度貸付額	0 千円
(2) 介護分野就職支援金貸付事業	
新規貸付決定件数	26 件
貸付決定総額	4,696 千円
貸付額	4,722 千円
※決定後辞退	2 件（380 千円）
※過年度貸付決定者分	3 件（540 千円）

3 保育士修学資金貸付事業の実施

(1) 修学資金	
①過年度決定件数（継続）	77 件
・ 令和 6 年度貸付額	43,566 千円
②令和 6 年度新規貸付決定件数	93 件
・ 令和 6 年度貸付決定総額	96,582 千円
・ 令和 6 年度貸付額	53,016 千円
(2) 入学準備金	
令和 6 年度新規貸付決定件数	85 件
・ 令和 6 年度貸付決定総額	14,639 千円
・ 令和 6 年度貸付額	14,639 千円
(3) 就職準備金	
①過年度決定件数	75 件
・ 令和 6 年度貸付額	14,670 千円
②令和 6 年度新規貸付決定件数	90 件
・ 令和 6 年度貸付決定総額	18,000 千円
・ 令和 6 年度貸付額	200 千円

推進項目 2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化

<事業項目 1 福祉サービス第三者評価の実施>

1 福祉サービス第三者評価の実施

(1) 福祉サービス第三者評価

福祉サービスの質の向上のため、福祉サービス第三者評価機関として 5 施設の評価を実施した。

横手市サンハイム（母子生活支援施設）

ハニーハイムかづの（母子生活支援施設）

若草ハイム（母子生活支援施設）

陽清学園（児童養護施設）

秋田県立医療療育センター（児童発達支援センター）

(2) 調査者の確保・育成

① 秋田県福祉サービス第三者評価調査者フォローアップ研修

修了者 10 名

② 調査者打合せ会

期 日 令和 6 年 6 月 28 日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 10 名

内 容 第三者評価事業について

調査者の役割・調査の進め方について 他

<事業項目 2 介護サービス情報公表の実施>

1 介護サービス情報の公表事業の実施

(1) 介護サービス事業所の調査及び介護サービス情報の公表に関する計画の策定

公表対象事業所が報告する介護サービス情報の受理・調査・公表の事務を適正に実施するため、報告計画、調査計画及び公表計画を定めた。

・公表計画件数 1,920 件

（報告のみの計画件数 1,302 件、報告及び調査の計画件数 618 件）

(2) 介護サービス情報の公表

公表計画に沿って対象事業所から報告された情報について、確認の上受理し公表した。

・公表件数 1,910 件（うち調査員が事業所訪問した調査件数 593 件）

(3) 調査員フォローアップ研修

期 日 令和 6 年 8 月 26 日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 26 名

(4) 調査員養成研修

期 日 令和 6 年 8 月 22 日（木）、23 日（金）、29 日（木）、30 日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 9 名

(5) 介護サービス情報公表手数料の徴収

秋田県介護サービス情報指定情報公表センターとして、対象事業所からの手数料徴収事務を実施した。

<事業項目 3 福祉事業者の経営・組織強化への支援>

1 経営相談・指導と研修の実施

(1) 相談指導の実施

常勤指導員 1 名（専任 1 名）及び非常勤指導員 9 名（弁護士 3 名、公認会計士 3 名、社会保険労務士 3 名）を配置し、相談指導を実施した。

① 一般相談（月～金）

相談件数 26 件

② 専門相談（法律、会計税務、社会保険労務相談）

相談件数 30 件

ア 施設種別別の相談状況

（単位：件）

施設種別 相談方法		障害 施設	児童 施設	老人 施設	その 他	法人 本部	小計	合計
訪問相談	常勤指導員					1	1	1
	非常勤指導員							
来所相談	常勤指導員							6
	非常勤指導員	1		3		2	6	
電話文書	常勤指導員	2	2	4	2	15	25	49
	非常勤指導員	1	1	8		14	24	
小計	常勤指導員	2	2	4	2	16	26	26
	非常勤指導員	2	1	11		16	30	
合 計		4	3	15	2	32	56	56

イ 相談事項別の内容件数

(単位：件)

相談方法 相談内容	訪問相談		来所相談		電話文書		小計		合計
	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	
①施設経営一般	1			6	17	5	18	11	29
②会計税務					1	10	1	10	11
③入所者処遇									
④職員待遇					1	3	1	3	4
⑤安全防災									
⑥衛生管理									
⑦施設整備									
⑧人材確保対策					1		1		1
⑨労使問題						5		5	5
⑩預り金									
⑪地域交流									
⑫その他					5	1	5	1	6
小 計	1			6	25	24	26	30	56
合 計		1		6		49			56

(2) 広報活動・情報の提供

①専門相談日・担当者に関する情報の提供

随時相談を受付けていることを必要に応じ、ホームページやメールマガジンにより情報提供した。

②社会福祉制度に関する情報の提供

厚生労働省及び全国社会福祉法人経営者協議会、全社協関係資料を中心に、必要に応じて情報を提供した。

(3) 法人・役員等研修会の開催（経営協と共催）

①秋田県経営協前期セミナー

期 日 令和6年8月9日(金)

会 場 秋田キャッスルホテル（秋田市）

参加者 69名

内 容 講義「はて？令和のいま考える社会福祉法人の公益性」

動画「全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～」

講義「これでスッカリ！テクノロジー等の活用と社会福祉法人経営」

③ 社会福祉法人理事長セミナー

期 日 令和6年11月15日(金)

会 場 秋田キャッスルホテル（秋田市）

参加者 64名

内 容 講演「国の動向と全国経営協の取組み、理事長の役割について」

講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯彰格 氏

④ 秋田県経営協後期セミナー

期 日 令和7年2月21日(金)

会 場 秋田パークホテル (秋田市)

参加者 56 名

内 容 講義「協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！」

動画「全国青年会入会促進 PR」

講義「災害に負けない！全国経営協の災害支援の考え方と取組」

2 種別協議会・団体への支援

各種種別協議会・団体の運営についてサポートを行うとともに、研修会の開催等により会員事業所職員の資質向上を図った。

- (1) 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- (2) 秋田県老人福祉施設協議会
- (3) 秋田県母子福祉協議会
- (4) 秋田県社会就労センター協議会
- (5) 秋田県民生児童委員協議会
- (6) 秋田県ホームヘルパー協議会
- (7) 秋田県ボランティア団体連絡協議会
- (8) 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- (9) 市町村社会福祉協議会連絡協議会
- (10) 秋田県知的障害者福祉協会
- (11) 秋田県知的障害児者生活サポート協会
- (12) 秋田県障害福祉団体協議会
- (13) 秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研究会

<事業項目4 苦情解決体制の強化>

1 運営適正化委員会事業の実施

- (1) 運営適正化委員会 (オンライン併用)

期 日 令和6年4月9日(火)

内 容 令和6年度秋田県運営適正化委員会事業報告について

令和6年度秋田県運営適正化委員会事業計画について

出席者 委員8名 県担当者1名

- (2) 運営監視小委員会 (オンライン併用)

第1回 期 日 令和6年7月9日(火)

内 容 令和5年度日常生活自立支援事業の実施状況及び令和6年度の事業運営について

日常生活自立支援事業の実施に関する要望について (回答)

- 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について（仙北市社協、潟上市社協）
- 第2回 出席者 委員6名、県担当者1名、専門員2名
期 日 令和7年1月14日(火)
内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について（五城目町社協、男鹿市社協、にかほ市社協）
現地調査の報告について
- 出席者 委員5名、県担当者1名、専門員3名
- 第3回 期 日 令和7年3月11日(火)
内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について（小坂町社協、八峰町社協、美郷町社協）
令和6年度の現地調査結果による県社協への要望について（案）
次年度の事業予定について
- 出席者 委員5名、県担当者1名、専門員3名
- (3) 苦情解決小委員会（オンライン併用）
- 第1回 期 日 令和6年5月14日(火)
内 容 苦情相談（3月～4月分）の報告について
令和6年度苦情解決研修会について
- 出席者 委員4名、県担当者1名
- 第2回 期 日 令和6年7月9日(火)
内 容 苦情相談（5月～6月分）の報告について
令和6年度苦情解決研修会中級編の結果報告について
- 出席者 委員5名、県担当者1名
- 第3回 期 日 令和6年9月10日(火)
内 容 苦情相談（7月～8月分）の報告について
令和6年度苦情解決研修会中級編の結果報告について
- 出席者 委員5名、県担当者1名
- 第4回 期 日 令和6年11月12日(火)
内 容 苦情相談（9月～10月分）の報告について
令和6年度巡回訪問の結果報告について
令和6年度苦情解決研修会について
- 出席者 委員6名、県担当者1名
- 第5回 期 日 令和7年1月14日(火)
内 容 苦情相談（11月～12月分）の報告について
令和6年度巡回訪問の結果報告について
令和6年度苦情解決研修会メンタルヘルス結果報告について
- 出席者 委員4名、県担当者1名
- 第6回 期 日 令和7年3月11日(火)
内 容 苦情相談（1月～2月分）の報告について

次年度の事業予定について
出席者 委員 5 名、県担当者 1 名

(4) 現地調査等による運営監視の実施

運営監視小委員会を年 3 回開催し、福祉サービス利用援助事業を実施している市町村社協 6 ヲ所における事業の実施状況や金銭の管理、生活支援の状況について現地調査を行い、改善を要する事項等について助言した。

また、今年度訪問しなかった社会福祉協議会 6 ヲ所の専門員から取組み状況の報告を受けた。

①運営監視小委員会：現地調査

期 日	訪 問 先	訪問委員等
令和 6 年 7 月 1 日 (月)	鹿角市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名
令和 6 年 7 月 2 日 (火)	北秋田市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名
令和 6 年 7 月 4 日 (木)	由利本荘市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名
令和 6 年 7 月 8 日 (月)	秋田市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名
令和 6 年 7 月 10 日 (水)	能代市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名
令和 6 年 7 月 18 日 (木)	大仙市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 1 名

②運営監視小委員会における専門員からの実施状況聞き取り（再掲）

対象 仙北市、潟上市、五城目町、男鹿市、にかほ市、小坂町、八峰町、美郷町の
社会福祉協議会

(5) 巡回訪問

社会福祉事業者における苦情が適切に解決されるよう、委員が事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況や苦情解決相談の状況について調査し、必要な助言を行った。

事業区分	施 設 名	訪 問 日
高齢者福祉施設	ひだまりディサービスセンター	令和 6 年 10 月 16 日 (水)
	ツクイ秋田土崎	令和 6 年 11 月 5 日 (火)
	特別養護老人ホーム昭寿苑	令和 6 年 11 月 6 日 (水)
	ケアハウス スマートライフ中通	令和 6 年 11 月 22 日 (金)
障害者福祉施設	株式会社 Barrier Free	令和 6 年 11 月 21 日 (木)
児童施設	発達支援 BOX らじあぼ	令和 6 年 10 月 3 日 (木)

(6) 苦情解決研修会

事業所の苦情受付担当者及び苦情解決責任者を対象に、事業所における適切な対応や相談技術の習得及び向上を図ることを目的として実施した。

第 1 回苦情解決研修会 〔初級編〕(2 回)

期 日 ①令和 6 年 6 月 6 日 (木)

②令和 6 年 6 月 11 日 (火)

会 場 オンライン

参加者 ①82 名
②70 名

内 容 講義

「クレームはどうして起きるのか。怒りの心理背景とその対応の心構えを学ぶ。」

講師：ブレイクステート代表 吉田こうじ 氏

第 2 回苦情解決研修会 〔中級編〕(2 回)

期 日 ①令和 6 年 8 月 19 日 (月) [高齢対象]

②令和 6 年 8 月 20 日 (火) [障害・児童・社協対象]

会 場 秋田県社会福祉会館 大会議室

参加者 ①33 名
②41 名

内 容 講義・演習「苦情を予防する基本的な知識と関係構築のコツを学ぶ。」

講師：ブレイクステート代表 吉田こうじ 氏

第 3 回苦情解決研修会 〔メンタルヘルス編〕

期 日 令和 6 年 11 月 7 日 (木)

会 場 オンライン

参加者 61 名

内 容 講義・演習

「自分と向き合い、燃え尽きを防ぎ、受け止めすぎない聴き方を学びます。」

講師：ブレイクステート代表 吉田こうじ 氏

(7) 広報・啓発活動の促進

事業報告書の本会ホームページへの掲載、苦情解決に関する事業者用掲示ポスター及びパンフレットの作成と関係機関への配布、市町村広報への掲載依頼を通して、広報・啓発活動を行った。

(8) 苦情解決事業の状況

福祉サービスの利用者及び家族等からの苦情や相談を電話・来所・FAX・メール等で受け付け、助言や他機関の紹介により解決を図ったほか、必要に応じ電話による状況把握を行い解決に結びつけた。

(単位：件)

受付方法	苦情	相談
来所	1	1
書面・電話等	28	34
合計	29	35
	64	

福祉保健従事者研修（秋田県福祉保健人材・研修センター委託研修事業）実施状況

(別表1)

区分	研 修 名 (コース・回数)	令和6年度						令和5年度					
		実施日	日数	受講 定員	申込 者数	実人数	延人数	実施日	日数	受講 定員	申込 者数	実人数	延人数
行政	1. 新任生活保護担当職員基礎研修	7/30-31	2	30	32	31	61	5/29-30	2	30	30	30	60
	2. 新任査察指導員基礎研修	6/7	2	10	6	5	10	6/27-28	2	10	8	8	16
	3. 課題別研修（生活困窮者支援）	3/10	1	15	7	7	7	7/27	1	15	9	9	9
	4. 地域福祉推進研修(職域研修と合同実施)	9/19-20	2	50	19	18	36	8/1-2	2	50	32	31	62
	計 4コース 4回		7	105	64	61	114		7	105	79	78	147
新任	5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	初任者コース（第1回）	7/25-26	2	100	39	35	70	8/29-30	2	100	49	44	88
	初任者コース（第2回）	9/30-10/1	2	100	47	40	80	10/17-18	2	100	42	37	74
	初任者コース（第3回）	11/5-6	2	100	28	25	50	11/7-8	2	100	31	30	60
	計 1コース 3回		6	300	114	100	200		6	300	122	111	222
中堅	6. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	中堅職員コース（第1回）	6/20-21	2	80	61	54	108	7/11-12	2	80	57	55	110
	中堅職員コース（第2回）	7/9-10	2	80	70	62	124	10/19-20	2	80	71	64	128
	中堅職員コース（第3回）	11/12-13	2	80	69	55	110	11/9-10	2	80	67	62	124
	計 1コース 3回		6	240	200	171	342		6	240	195	181	362
指導的 従事者	7. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	チームリーダーコース（第1回）	7/11-12	2	70	50	45	89	6/20-21	2	70	35	32	64
	チームリーダーコース（第2回）	8/29-30	2	70	47	40	80	8/31-9/1	2	70	64	55	110
	チームリーダーコース（第3回）	10/31-11/1	2	70	61	57	114	12/11-12	2	70	68	65	130
	チームリーダーコース（第4回）	12/12-13	2	70	32	28	55	2/29-3/1	2	70	30	29	58
	計 1コース 4回		8	280	190	170	338		8	280	197	181	362
管理者	8. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	管理職員コース（第1回）	7/23-24	2	70	23	21	42	7/25-26	2	70	29	25	50
	管理職員コース（第2回）	11/7-8	2	70	34	28	56	11/16-17	2	70	46	35	70
	計 1コース 2回		4	140	57	49	98		4	140	75	60	120
職域別	9. 研修担当職員研修	7/2-3	2	80	45	41	82	10/5-6	2	80	48	47	94
	10. 地域福祉推進研修（行政研修と合同実施） ※再掲	9/19-20	2	50	19	18	36	8/1-2	2	50	32	31	62
	11. 施設等相談援助職員研修	11/28-29	2	80	41	35	70	11/29-30	2	80	42	42	84
	12. 保育施設保育士研修	1/16・1/27	2	60	14	13	26	2/6・3/14	2	120	26	26	26
	13. 福祉保健施設・事業者等看護職員研修	7/19	1	100	87	76	76	11/6	1	100	55	53	53
	14. 福祉保健施設・事業者等事務職員研修	9/9	1	100	82	77	77	9/26	1	100	67	64	64
	15. 施設給食担当職員研修	8/21	1	100	97	93	93	8/22	1	100	28	24	24
	計 7コース 7回		11	570	385	353	460		11	630	298	287	407
	16. 課題別研修Ⅰ（コーチング研修）	2/20-21	2	100	7	7	14	12/6-7	2	100	74	68	136
	17. 課題別研修Ⅱ（福祉実践inあきた）	12/10	1	100	23	18	36	12/19	1	100	49	45	45
	計 2コース 2回		3	200	30	25	50		3	200	123	113	181
17コース 25回			45	1,835	1,040	929	1,602		45	1,895	1,089	1,011	1,801

自主企画研修事業等実施状況

(別表2)

区分	研 修 名 (コース・回数)	令和6年度					令和5年度				
		実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数	実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数
従事者向け研修	1 介護記録の理解と実践 (2回)	7/17	1	80	82	74	7/13	1	80	65	62
		9/4	1	80	69	62	10/26	1	80	64	61
	2 クレーム対応研修	1/28	1	90	67	61	8/10	1	80	100	94
	3 メンタルヘルス研修	12/2-3	1	80	35	28	10/31	1	80	84	76
	4 リスクマネジメント研修	9/13	1	80	113	106	12/1	1	80	113	94
	5 法人役員・施設長研修	12/16	1	80	54	45	9/13	1	80	46	45
	6 調理技術研修 (3回)	6/18	1	30	31	29	6/7	1	30	31	31
		10/17	1	30	32	28	10/11	1	30	30	28
		11/14	1	30	24	23	11/15	1	30	33	32
	7 怒りのマネジメント研修	1/30	1	90	53	49	6/23	1	80	98	91
	8 OJTリーダー研修 ※オンライン	2/4	1	90	81	77	11/2	1	90	81	77
	9 コミュニケーション向上研修	1/29	1	80	46	44	6/22	1	80	84	81
	10 説明力強化研修	1/21	1	90	74	67	8/18	1	80	95	88
	11 ビジネスマナー向上研修	6/14	1	60	45	40	6/6	1	80	55	52
	12 タイムマネジメント研修	1/31	1	90	57	54	7/14	1	80	77	74
	13 はじめての給与事務担当職員研修	5/30	1	80	33	30	6/1	1	100	58	55
	14 虐待・ハラスメント防止研修	9/2	1	90	111	95	9/8	1	80	125	116
	15 施設・社協職員のためのファシリテーション基礎講座	11/26-27	2	60	25	20	—	—	—	—	—
	16 コーチング研修基本編	12/17	1	60	73	67	—	—	—	—	—
	17 認知症介護基礎研修 (3回)	7/5	1	80	80	72	7/6	1	80	135	118
		10/28	1	80	76	63	12-13	1	80	133	111
		—	—	—	—	—	3/7	1	80	184	131
	計 17コース (21回)		16	1,040	841	758		14	1,000	1,219	954
認知症介護研修	1 認知症介護実践者研修 (2回)	5/21-8/9	8	80	82	79	5/25-8/9	8	80	102	80
		8/22-11/22	8	80	103	75	8/24-11/22	8	80	93	78
	2 認知症介護実践リーダー研修	9/25-12/4	11	40	68	37	9/27-12/8	11	40	41	38
	3 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	10/21-22	2	30	22	22	10/24-25	2	30	32	28
		3/5-6	2	30	20	18	3/5-6	2	30	24	23
	4 認知症対応型サービス事業開設者研修	5/17	1	30	8	8	5/17	1	30	9	8
	5 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1/23-24	2	30	13	12	1/24-25	2	30	16	15
	計5コース (7回)		34	320	316	251		34	320	317	270
計 20コース (27回)			50	1,360	1,157	1,009		48	1,320	1,536	1,224

《基本方針 4 組織・経営基盤の強化》

推進項目 1 法人経営の基盤強化と財源の確保

<事業項目 1 透明・公正な組織運営の推進>

1 役員会の開催

①正副会長会議

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 6 年 5 月 23 日 (木)	・ 理事会への提出議案等について
2	令和 6 年 9 月 5 日 (木)	・ 令和 6 年度秋田県社会福祉大会について ・ 令和 6 年度県社協会長表彰について
3	令和 6 年 12 月 13 日 (金)	・ 令和 6 年度上期の予算執行状況について ・ 令和 7 年度県補助金及び受託金の要望状況について ・ 大雨災害被災地（山形県酒田市）支援の状況について ・ 令和 7 年度職員採用について
4	令和 7 年 3 月 3 日 (月)	・ 理事会への提出議案等について

②理事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 6 年 5 月 29 日 (水)	・ 令和 5 年度事業報告（案）について ・ 令和 5 年度一般会計収支決算（案）及び令和 5 年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・ 令和 6 年度一般会計補正予算（案）について ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 評議員の選任に係る同意について ・ 令和 5 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の招集について
2	令和 7 年 3 月 10 日 (月)	・ 定款の変更について ・ 会員及び会費に関する規程の一部改正について ・ 事務局規程等の一部改正について ・ 職員給与規程等の一部改正について ・ 育児・介護休業等に関する規程等の一部改正について ・ 令和 6 年度一般会計第 2 次補正予算（案）及び令和 6 年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・ 令和 7 年度事業計画（案）について ・ 令和 7 年度一般会計予算（案）及び令和 7 年度生

		活福祉資金会計予算（案）について ・ 評議員選任・解任委員の選任について ・ 理事の選任の提案について ・ 評議員候補者の選任に係る同意について ・ 役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 令和6年度第2回評議員会の招集について
--	--	--

③監事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和6年5月17日(金)	・ 令和5年度事業報告（案）について ・ 令和5年度一般会計収支決算（案）及び令和5年度生活福祉資金会計収支決算（案）について
2	令和6年12月2日(月)	・ 令和6年度上期事業実施状況について ・ 令和6年度一般会計及び令和6年度生活福祉資金会計上期決算について

④評議員選任・解任委員会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和6年6月4日(火) ※決議があったとみなされた日	・ 評議員の選任について（書面による決議の省略）
2	令和7年3月12日(水)	・ 評議員の選任について

2 評議員会の開催

回	期 日	主 な 議 題
1	令和6年6月17日(月)	・ 令和5年度事業報告（案）について ・ 令和5年度一般会計収支決算（案）及び令和5年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・ 令和6年度一般会計補正予算（案）について
2	令和6年3月21日(金)	・ 定款の変更について ・ 会員及び会費に関する規程の一部改正について ・ 令和6年度一般会計第2次補正予算（案）及び令和6年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・ 令和7年度事業計画（案）について ・ 令和7年度一般会計予算（案）及び令和7年度生活福祉資金会計予算（案）について ・ 理事の選任について

3 事業評価の推進

事業(業務)管理シートを基に重点事業の到達目標や達成度等を組織全体で確認・共有し、事業内容及び予算を精査して効果的な事業推進を図った。

＜事業項目 2 会員の拡大と自主財源の充実＞

(1) 会員制度の周知と会員拡大、会員サービスの充実

本会ホームページに入会手続きに関する案内を掲載し、新規開設施設に対し情報を提供するとともに、過去に発注・契約の実績のある企業に対しては賛助会員としての加入を働きかけた。その結果、新たに会員となった事業所・企業は 18 か所であった。

〈令和 6 年度新規加入施設〉

一般会員 3 か所(老人福祉施設)

賛助会員 15 か所

(2) 自主財源の充実

① 図書販売斡旋

(単位：冊)

	全社協出版部				その他 出版社	合 計
	書籍	手帳	その他	小計		
販売冊数	373	3,146	0	3,519	0	3,519

② 秋田県火災共済契約事業の促進 (単位：件)

	契約件数 (継続含む)
火災共済	307
自動車共済	531

③ 自動車リースの促進 (単位：台)

	契約台数 (継続含む)
社会福祉協議会	75
社会福祉施設等	160

④ 家庭用常備薬の斡旋 (単位：円)

	金 額
手数料収入	105,482

⑤ 事務経費の節減

職員のコスト意識を徹底し、事務機器の再リース契約により費用の圧縮を図ったほか、節電、コピーパフォーマンスチャージの削減に努めた。

＜事業項目 3 危機管理体制の構築＞

1 事業継続計画 (BCP) の策定と実施

事業継続計画 (BCP) の策定に向け検討・協議を行った。

＜事業項目 4 秋田県社会福祉会館の適正な運営＞

1 秋田県社会福祉会館の適正な運営及び利用者の拡大

(1) 社会福祉会館及び心身障害者総合福祉センターの利用促進

① 利用者の開拓

企業・団体等への訪問開拓、グーグルストリートビューの活用などにより利用者の開拓・利用促進に努めた。

企業・団体等への訪問開拓件数 993 企業・団体

ダイレクトメールによる PR 件数 64 か所

②自主事業の実施

ア 会館フェスティバル

令和 6 年 8 月 3 日(土)～6 日(火) 参加者 延べ600名

イ 社会福祉会館最新介護機器等展示会

令和 6 年10月25日 参加事業所9事業所 参加者 延べ130名

ウ 知的障害者・精神障害者施設作品・加工物等の出店販売

エントランスホール等で定期移動販売の場所及び機会の提供の調整を行った。
年 63 回実施 260 名の施設利用者・職員が参加

エ 特別支援学校生徒等の作品展示

令和 6 年12月 9 日(月)～2 月28日(金)

県立きらり支援学校他特別支援学校等 4 施設、福祉会館近隣保育所 2 施設

オ 秋田県障害者福祉展入賞作品展示

令和 7 年 3 月 8 日(金)～3 月22日(金)

身体障害者、知的障害者、精神障害者 3 個人の作品展示

カ スポーツ教室等

太極拳 参加者 延べ 321 名

ヨガ 参加者 延べ 233 名

③社会福祉会館・心身障害者総合福祉センターの利用状況

ア 会議室・展示ホール利用状況	利用件数	2,727 件
	利用人数	56,114 人
イ 心身障害者総合福祉センター利用状況	利用件数	1,456 件
	利用人数	13,303 人
ウ 自主事業等その他の利用状況 (太極拳・ヨガピラティス等)	利用件数	486 件
	利用人数	5,190 人
エ 献血 (4/16・12/23・3/21)	利用件数	3 件
	利用人数	34 人
オ 開館時からの総計	利用件数	140,504 件
	利用人数	3,300,923 人

(2)利用者に対するサービスの充実

①利用者満足度の把握

ア 御意見箱の設置

窓口での対応の他に、館内 4 か所に「御意見箱」を設置し、利用者の苦情・要望・意見などを把握した。また、入居団体総務担当者会議(年 2 回)を通じて入居団体・障害者団体からの要望の把握も行った。

イ 利用満足度調査の実施

令和 6 年 5 月から 9 月までに窓口で会議室利用 101 団体にアンケート調査を実施し、窓口対応、設備、清掃状況等について 5 段階で回答をいただいた結果、満足度(県指定算出方法)が 86.8%となった。

・駐車スペースが少ない・トイレの洋式化・健常者の体育館の利用制限の緩和等

御意見箱や入居団体からの要望をもとに障害者団体から心身障害者総合福祉センターのトイレの一部洋式化、冷暖房の能力アップに向けた冷温水発生機空調機の更新、自動体外式除細動器(AED)の体育館前設置による緊急時の救急救命対応に努めたほか、本館4階から7階までの給湯器更新工事、車いす障害者用駐車場融雪ユニットの更新工事を実施した。

ア 令和6年度大規模修繕工事の実施状況

中央監視室空調監視装置・末端伝送装置更新	令和6年5月31日(金) から 令和7年2月20日(木) まで
身障センタートイレ部洋式化工事	令和6年11月18日(月) から 令和7年3月11日(火) まで

ウ 社会福社会館設備等の小破修繕の実施
25 件 2,420,008 円

ア PC プロジェクター (利用回数年 121 回)
イ 100 インチスクリーン (利用回数年 181 回)
ウ リモート会議用機材 PC (利用回数年 523 回)

①入居団体総務担当者会議

— 85 —

省エネ対策について

その他

②会館管理運営協議会

期 日 令和 7 年 3 月 25 日 (火)

内 容 令和 6 年度会館管理運営事業報告について
令和 6 年度会館管理運営事業決算見込について
利用料収入・利用件数等について
光熱水費の支出状況について
修繕費の支出状況について
令和 7 年度の大規模修繕要望について

③防災消防総合訓練の実施・防災講話会

第 1 回 期 日 令和 6 年 7 月 2 日 (火)

参加者 入居団体 109 名

内 容 通報・避難訓練 (秋田消防署職員による講評)

第 2 回 期 日 令和 7 年 2 月 14 日 (金)

参加者 入居団体 27 名

内 容 防災講話会

講師 秋田消防署 消防司令補 伊藤 章 氏

演題 「大規模修繕に備える」

④令和 7 年度社会福社会館設備運転保守業務委託に係る指名競合入札の実施

期 日 令和 7 年 3 月 18 日 (火)

指名業者 秋田市内 9 事業所

(4)その他

利用料収入は、大規模修繕工事(空調機更新)で有料会議室の空調が停止する等の影響のため目標額を下回ったものの、指定管理 5 年計画の利用料収入予算に対しては、約 1,870 千円の増収となった。電気使用量では前年度比 3.8%減少(21,059Kw/h 減)、使用金額では前年度比約 5.3%減少(約 980 千円減)、重油使用量では前年度比 12%減少(12,000ℓ 減)となり使用金額では前年度比約 8.7%減少(約 887 千円減)とし、全館を対象にエネルギー支出の削減に努めた。

推進項目 2 職員の資質向上と意識改革

<事業項目 1 職員評価の推進>

1 業務目標評価の実施

各シートを使い自己評価や管理職による評価を行うとともに、ヒアリングを通し職員の業務遂行能力の向上を図った。

2 能力評価の実施

各シートを使い自己評価や管理職による評価を行うとともに、ヒアリングを通し職員

の業務に対する意欲と資質向上を図った。

＜事業項目 2 職員の資質向上＞

1 資格取得の支援

専門性確保のため、職員の資格取得に向けた支援を行った。

社会福祉主事資格認定通信修了者 1 名

＜事業項目 3 働きやすい環境の整備＞

1 健康経営の推進

職員の心身の健康づくりを支援することにより、安定して働いてもらえる職場環境を目指した。

(1) 衛生委員会の開催

毎月 1 回開催し、職場環境データや長時間労働状況を報告するとともに、メンタルヘルスケア、感染症対策などについて協議した。

(2) 研修会の開催

① 歯と口腔の健康を学ぶ学習会

日 時 令和 6 年 6 月 19 日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館合同研修室

参加者 40 名

② 栄養・食生活改善について

日 時 令和 6 年 8 月 20 日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館合同研修室

参加者 42 名

(3) 秋田県版健康経営優良法人の申請・認定

令和 6 年 12 月に申請、認定年月日は令和 7 年 3 月 1 日。

2 エルダー・メンター制度の導入

新任職員の仕事上の悩みや不安を解消・軽減するため、メンター制度を試行的に実施した。

《その他 災害時における被災地支援》

1 令和6年7月大雨災害に伴う被災地支援の状況

(1) 市町村社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置

社協名	設置期間	活動延べ件数	ボランティア延べ人数
由利本荘市	7月26日(金)～9月25日(水)	85 件	738 人
にかほ市	7月30日(火)～8月31日(土)	107 件	714 人
上小阿仁村	7月29日(月)～8月20日(火)	11 件	106 人
計	—	203 件	1,558 人

(2) 市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンターへの支援

①秋田県災害ボランティア支援センターの設置

設置期間 令和6年7月26日(金)～9月25日(水)

②活動状況

・職員派遣

現地ニーズ等の状況確認、情報収集、災害ボランティアセンターの立ち上げ支援及び運営支援

・調整、コーディネート

各種問合せ対応、関係機関との連絡調整、全社協との連絡調整、北海道・東北ブロック社協との連絡調整、市町村社協への職員派遣依頼・派遣調整

・情報収集・提供

被災状況の把握、ホームページによる災害ボランティアセンター情報等の発信、ボランティア活動に関する情報提供、県及び全社協、北海道・東北ブロック道県社協、被災市町との情報共有

③職員派遣状況

・令和6年7月26日(金)～9月25日(水)

	由利本荘市災害 VC	にかほ市災害 VC	上小阿仁村災害 VC	計
市町村社協	34 人	22 人	0	56 人
県社協	28 人	16 人	2	46 人
合計	62 人	38 人	2	102 人

(3)酒田市災害ボランティアセンターへの支援

- ・派遣先 山形県酒田市社会福祉協議会
- ・派遣期間 令和6年9月23日(月)～10月31日(木)
1クール4泊5日(実働4日間)
- ・支援内容 災害ボランティアセンター運営支援

クール	派遣日	派遣人数	内訳
16	令和6年9月23日(月)	2名	県社協2名
18	令和6年9月29日(日)	2名	県社協1名、秋田市社協1名
20	令和6年10月5日(土)	2名	男鹿市社協1名、五城目町社協1名
21	令和6年10月8日(火)	2名	能代市社協2名
23	令和6年10月14日(月)	2名	男鹿市社協1名、大潟村社協1名
25	令和6年10月20日(日)	2名	五城目町社協2名
27	令和6年10月26日(土)	2名	能代市社協2名

(4)酒田市災害ボランティアセンターへのボランティアバスの運行

期 日	出発地	活動場所	参加者数
令和6年10月12日(土)	秋田県庁	酒田市	24人
令和6年10月13日(日)	秋田県庁	酒田市	15人
計	—	—	39人

2 令和6年能登半島地震に伴う被災地支援の状況

(1)現地災害ボランティアセンターへの支援

- ・派遣先 石川県志賀町社会福祉協議会、石川県珠洲市社会福祉協議会
- ・派遣期間 令和6年2月21日～7月30日、1クール6泊7日(実働5日間)
- ・支援内容 災害ボランティアセンター運営支援(令和6年度以降)

クール	派遣日	派遣人数	内訳	派遣先
15	令和6年4月9日(火)	2名	湯沢市社協2名	志賀町
18	令和6年4月21日(日)	2名	仙北市社協2名	志賀町
21	令和6年5月3日(金)	3名	県社協1名、大仙市社協2名	志賀町
24	令和6年5月15日(水)	2名	横手市社協2名	志賀町
27	令和6年5月27日(月)	2名	横手市社協2名	志賀町
32	令和6年6月16日(日)	2名	由利本荘市社協2名	志賀町
41	令和6年7月24日(水)	2名	県社協2名	珠洲市

令和7年度

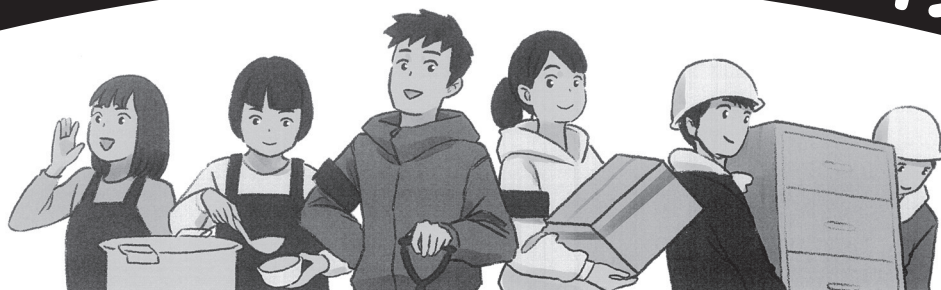
<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)
	入院保険金日額		6,500円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
	地震・噴火・津波による死傷		×
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)
	年間保険料		350円

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)